

2986

特22
664

104
276

第八回勸業諮問會日誌

秋田縣

(禁發賣)

秋田縣第八回勸業諮問會日誌

本會ハ明治二十七年三月十二日ヨリ十六日迄五日間本廳内ニ開設セリ其會員ノ姓名左ク如シ

會頭

秋田縣內務部長

書記官

檜垣直春

直春

説明委員

秋田縣技手

中嶋正四郎

秋田縣屬

中松戒三

同

兒玉史郎

同

龍田退藏

同

長瀬通一

書記

秋田縣屬

坂本八十治

同

高田眞成

會員

北秋田郡七日市村

長岐眞治

平鹿郡横手町

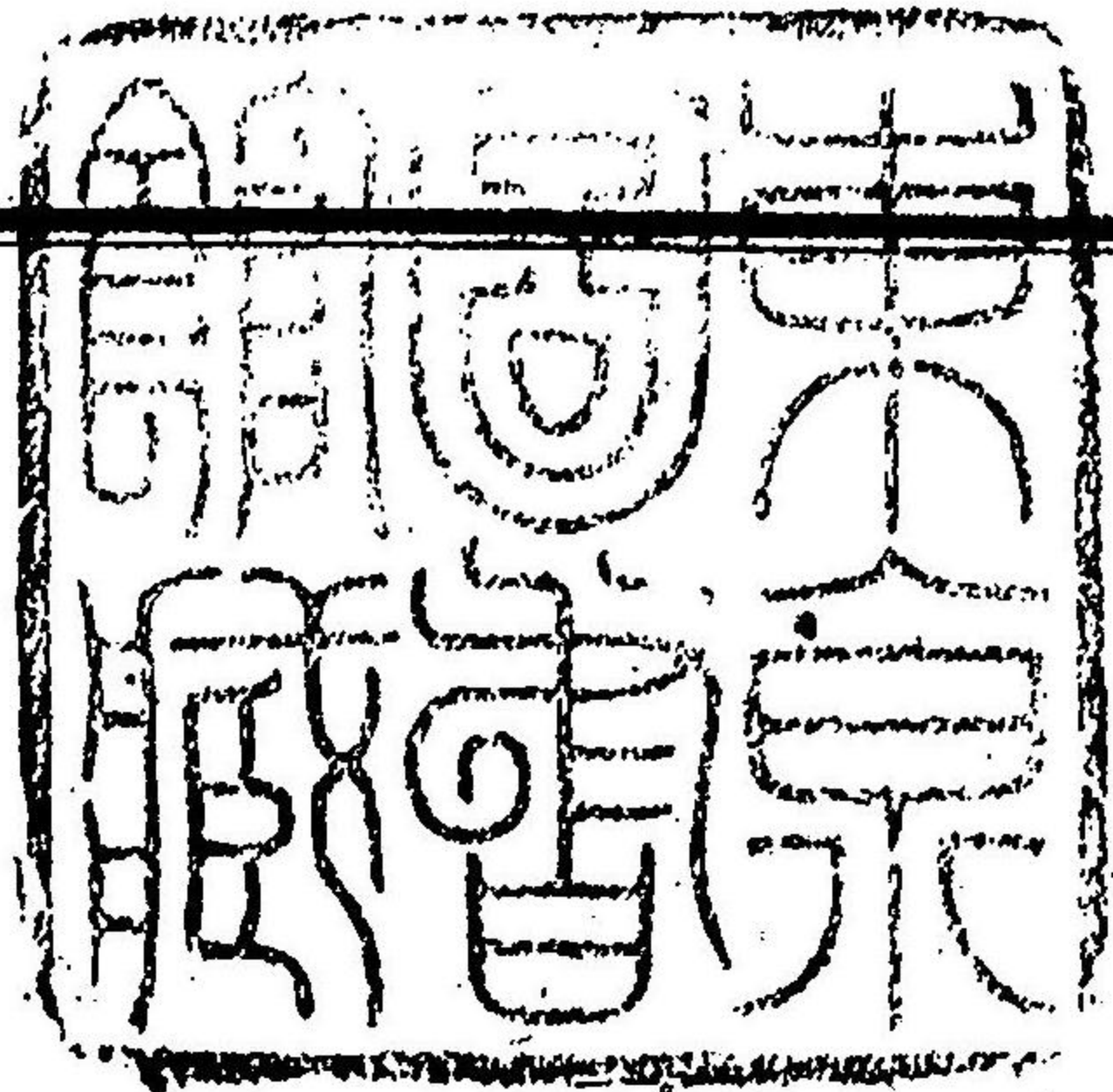
富岡久助

秋田市

柿岡源十郎

鹿角郡宮川村

阿部悦人



一番

二番

三番

四番

欠

五番 欠	平鹿郡角間川村	本郷	吉右衛門
六番 欠	仙北郡大曲町	榑田	清兵衛
七番 欠	全郡角館町	植木	定靜
八番 欠	南秋田郡船川村	澤木	晨吉
九番 欠	仙北郡六郷町	島山	久左衛門
十番	山本郡響村	島山	雄三
十一番	北秋田郡大館町	村山	茂真
十二番	雄勝郡西馬音内村	柴田	養助
十三番	秋田市	木下	正兵衛
十四番	南秋田郡土崎港町	加賀谷	保吉
十五番 欠	全	菅	禮治
十六番 欠	山本郡鶴川村	兒玉	高致
十七番	由利郡鹽越村	佐々木	平治
十八番	同郡石澤村	須田	宇兵衛
十九番	河邊郡豊岩村	志賀	光胤
二十番 欠	北秋田郡鷹巣村	成田	儀八郎

○勸業諮問會規則

第一條 諮問會ハ總テ談話ノ休ヲ用ヒ問題ニ對シ各會員ノ意見ヲ演ブルニ止ルモノトス
但其主意ヲ貫徹センガ爲メ辨明スルハ妨ケナシト雖モ甲乙其說ノ異ナルヲ辨駁抗論スル

ヲ許サス

第二條 諮問會ハ素ヨリ諮問ニ止マルヲ以テ諸說ノ採擇ハ會頭ノ意見ニ在ルモノトス
但場合ニ由リ會員ノ意見ヲ識別スヘキ爲メ起立ノ作用ニ依ルコトアルベシ

第三條 諮問會ハ午前第九時ニ始メ午後第四時ニ終ルモノトス
但會頭ノ見込ニ由リ伸縮スルコトアルベシ

第四條 會員ハ開會時刻前必登場スヘシ若シ疾病事故アリテ欠席スルトキハ其旨會頭ニ届出
ベシ

第五條 會員ノ着席ハ抽籤法ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 諮問中ハ總テ氏名ヲ稱セス會頭ハ會頭ト呼ビ會員ハ其番號ヲ稱スベシ

第七條 凡ソ問題外ノ件ニシテ建議セントスレモノハ可成書面ヲ以テ會頭ニ出スヘシ

第八條 會頭ハ諮問ニ先立チ書記ヲシテ問題ヲ朗讀セシムベシ

第九條 會員發言セント欲スル者ハ會頭ヲ呼ビ其許可ヲ得ベシ若シ二人以上同時ニ發言ヲ請
フトキハ會頭ノ指示スル所ニ據ルベシ

第十條 諮問會ハ傍聽ヲ許スト雖モ事宜ニ依リ之ヲ制限スルコトアルベシ

三月十三日會員一同着席檜垣書記官會頭席ニ進ミ左ノ挨拶アリ

本日ヲ以テ勸業諮問會ヲ開設ス目今知事不在ニ付小官代理スルヲ以テ不行届ノ處ナキヲ保シ
難シ諸君請フ豫メ之ヲ諒セラレシコトヲ

會頭(檜垣 各諮問題ニ付疑ノケ處ハ御質問アリタシ

委員(中嶋技手) 各諮問題第一號ヨリ順序ニ質問セラレシコトヲ望ム

一番(長岐) 第一號ヨリ第四號迄ノ内何レニ就キ質問ヲ發スルモ差支ナキヤ
會頭(檜垣) 第四號問題水産ノ件ヲ除キ質問相成リ差支ナシ
三番(柿岡) 第一號ヨリ漸次質問セハ錯雜セサルヘシ
會頭(檜垣) 然ラハ第一號問題ヨリ漸次質問スル事ニセン
書記第一號案ヲ朗讀ス

第一號

一放牛馬取締ノ件

理由

管内農家ニ於テ飼養スル牛馬ハ概テ春季消雪ノ候ヨリ之ヲ山野ニ放牧シ其甚シキニ至リテハ田圃或ハ道路ニ放養スルノ慣習アリ爲メニ他人ノ作物ヲ荒シ通行ヲ妨ケ世ノ公益ヲ害スルコト尠カラズ依テ此弊習ヲ矯正センカ爲メ他ニ逸出ノ憂ナキ牧場又ハ一定ノ場所ニアラズシテ濫ニ牛馬ヲ放養スルコトヲ禁止セント欲ス其可否並ニ他ニ弊風矯正ノ方法アラハ其意見ヲ諮フ

委員(龍田) 本案ヲ提出セシ理由ハ諮問問題ニ記載ノ通りニシテ別段辨明ノ要ナキカ如シト雖トモ一應申述ヘン消雪後農家ノ習慣トシテ青草ノ發生ト同時ニ牛馬ヲ放牧シ又所ニヨリ原野或ハ牧場ニ近キ所ハ之ニ放牧スル等其ノ狀況一ナラスト雖トモ之ヲ要スルニ牛馬ヲ放牧スルノ弊アリテ田圃ノ作物ヲ蹂躪シ其甚シキハ往々道路ニ群集シ通行人ノ妨害ヲナスコトアリ此等ノ弊害ニ依リ麥作ヲ獎勵スルモ終ニ其好果ヲ得ルコト能ハサル次第ナリ故ニ縣廳ニ於テ一定ノ規則ヲ設ケ之レカ取締法ヲ設ケントス本案施行スルニ於テハ農家並ニ畜産家ニ如何ナル影響

ヲ及サスヤ又取締法ニ付良法アラハ其意見ヲ充分述ヘラレシコトヲ望ム

十八番(須田) 由利郡地方ハ牛馬ヲ放牧スルニ番人ヲ附スルヲ以テ農作物ノ害ヲナスコトナシ番人ヲ附シ放牧スルハ一定ノ場所ニアラサルモ差支ナキヤ

委員(龍田) 全体是ノ件ハ一定ノ放牧場ナク道路或ハ田圃ニ放牧シ他ノ作物ヲ害スルヲ以テ之ヲ矯正スルノ目的ヨリ本案ヲ提出セシモノナレハ拾八番ノ如ク一々番人ヲ附シ放牧シ得ルトセハ差支ナキモ悉ク番人ヲ附スルコト困難ナルヘシ

一番(長岐) 先年放牛馬取締ノ件ニ付違警罪ノ法令アリシト思フ如何

委員(龍田) 追テ取調ノ上述ヘン

四番(安陪) 鹿角郡ノ景況ハ山野或ハ田圃ニ放牧シ作物ヲ蹂躪スルヲ以テ明治十九年ヨリ各役場ニ於テ取締リ各規約ヲ設ケタレトモ違反者アルハ警察權ヲ以テ充分之ヲ取締ルコト能ハズ是レカ取締甚タ困難セリ然ルニ本郡勸業會ニ於テ麥作獎勵ノ件ヲ議定セシカ右ノ取締法行ハレサル以上ハ到底麥作ノ見込ナキヲ以テ本郡長ヨリ本件ニ付會テ上申セシ次第ナリ

委員(龍田) 管内中山野ニ放牧スル牛馬ハ其骨格善良ナレトモ然ラサルモノハ筋肉弛緩ニシテ善良ノ馬匹ヲ産スル少シ故ニ畜産上ヨリセハ放牧ヲ獎勵セサルヘカラス然ルニ之ヲ放牧セハ他ノ農産物獎勵上妨害トナルヲ以テ他ニ逸出セサル牧場ヲ設ケ之ヲ放牧スルモノトセハ農家及畜産家ニ於テ困難トスル所ノ景況即チ其關係假令ハ云々ノ方法ニセハ作物ハ善キモ畜産家ハ困難ヲ感スル等ノ事實ニ就キ充分御意見ヲ述ヘラレタシ

三番(柿岡) 一番ノ云ハル、通り本員モ放牛馬取締ニ關シ發布セシ法令アリシト思フ宜シク委員ニ於テ其當時ノ顛末充分御取調アリタシ

委員龍田) 本縣ノ法令ヲ以放牛馬ヲ取締タルコトハ之ナキヤニ考ヘラル併シ取調ノ上確答スヘシ
一番(長岐) 放牛馬取締ノ法令ハ確カアリタル様ナリ而シテ本縣牧場ハ多ク柵等ヲ設ケシ所甚タ
少シ一定ノ牧場トハ共有秣場等ノ如キ場所ニ土手若クハ柵ヲ設クルノ意カ

委員龍田) 然ラサルモ他ニ逸出ノ憂ナキ所ハ差文ナシ

三番(柿岡) 年度ハ記憶セサルカ取締ノコトハ發令アリ故ニ之レヲ取消シタルコトニ就テハ何ニカ主
意ノアルコト信スレハ何レ明日調ベテ更ニ本案ニ付意見ヲ述ヘン

十三番(木下) 牛馬ヲ放牧スレハ善良ナルモノヲ産シ束縛セハ善良ノモノヲ産出セサルハ普通ナ
リト聞ケリ如何

委員龍田) 放牧スルハ圍ノ有無ニ關セス善良ノモノヲ産出スルナリ

十二番(柴田) 本案ニ就キ思考スルニ取締法ヲ制定シ一定ノ牧場ヲ設ケタル方得策ナルヘシ且ツ
早晚鐵道モ布設セラル、今日尤モ急務ナリ殊ニ我郡ニアリテハ秣草場ニ乏シク何レモ官山ノ
秣場ヲ拜借スルヲ以テ之レカ金額少クニアラス故ニ本縣ニ於テ官有地中相當ノ場所ヲ拂ヒ下
ラレンコトヲ望ム

會頭別段質問モオキ様ナレハ是レヨリ御意見ヲ述ラレンコトヲ望ム

十八番(須田) 本員ハ三番ト同感ナリ海邊及山ノ少キ場所ハ如何ニ一定ノ牧場ヲ設ケルモ充分ノ
保護ヲナスコト能ハサルケ所往々アルヘケレハ三番ノ如ク違警罪ノ事實ヲ取調更ニ意見ヲ述フ
ルコトニセン

十一番(村山) 本案ノ取締法ハ設ケル方宜シ即チ其方法宜シキヲ得ハ農産、畜産兩ツナカラ全キ
ヲ得ヘシ故ニ本案ニ付其大體ツ可否ヲ問ヒ其決議ニ依リ一定ノ牧場ヲ撰定シ度モノナリ本縣

ノ馬産ハ全國ニテ一二ヲ下サルヲ以テ獎勵スルハ勿論ナレモ追々鐵道布敷ニ至ルルハ漸次
其數ヲ減少シ之ニ反シ農作物ハ人口ノ増殖ト共ニ益々之ノ獎勵ヲナサルヘカラス故ニ畜
産ハ必要ノ点迄保護シ農作物増加スルコトニ於テ害ヲ及ホザル限リハ充分之レカ取締法ヲ
設ケラレタシ

一番(長岐) 取締ノ方法宜シキヲ得ハ宜カルヘシト雖トモ兎角各地方其狀況ヲ異ニシ即チ南秋田
郡ニアリテハ船岡、木曾石、廣山田等ノ如キハ到底柵ヲ以テ牛馬ノ逸出ヲ防グコト困難ナリ故
ニ其地方毎ニ適當ノ方法ヲ設クルコトニ致シタシ

十一番(村山) 畜産農産トモ極端ニ走ラス十分討議スルコト、シ即チ馬産ニ格別ナル害ヲ與ヘサ
ル限リハ之レカ取締法ヲ設グコト尤モ必用ナルヘシ實ハ本案ノ如キハ充分其方法ヲ取調ベ實
施ノ案文ヲ添ヘテ諮問セラレシナラバ意見ヲ述フルニ最モ便宜ナリシナラン

委員龍田) 方法ヲ添付シ諮問セヨト十一番ヨリ云ハレタレトモ其邊ハ未タ充分明カナラサレハ
其方法ノ實施狀況等各員ヨリ充分述ヘラレンコトヲ望ム

四番(阿部) 一定ノ場所ニ柵又ハ土手ヲ設クルハ充分困難ナレハ或ル適宜ノ方法ニヨリ設クルヨ
リ外ナシ我郡ハ多ク八十八夜ヨリ番人ヲ附スルモ八十八夜十日後ハ之ヲ防クニ困難ナルヲ以
テ之レヲ取締ル方法ヲ設クルコト郡民ノ輿論ナリ

三番(柿岡) 本員ハ前己ニ述フル如ク取締法令ノコトヲ取調タル上別ニ意見ヲ述ブベシ是レヨリ
次項ノ諮問題ニ付質問スルコトニシタシ

會頭(檜垣) 三番十八番ノ説モアリ他ニ反對ノ御意見ナクハ他ニ移ルコトニセン
十三番(木下) 三番ノ全体ノ質問ヲ終リ後之カ意見ヲ述ヘントスル説ニ賛成ス

書記二號案ヲ朗讀ス

一 鐵道ノ布設ハ本縣ノ産業ニ如何ナル影響ヲ及スベキヤ

理由

鐵道敷設ヨリ享ル利益ノ主ナルモノハ運輸ヲ圓滑ナラシムルニアルヲ以テ鐵道ノ敷設ハ産業必要件ノ價格等ニ高低ヲ來シ輸出入其他生産上種々ノ事件ニ變更ヲ及ホスハ數ノ免ルヘカラサルモノナリ然ラハ奥羽鐵道敷設ノ曉本縣産業ニ及ホス影響如何ヲ講スルハ今日ノ急務ト云フヘシ依テ左ノ要件ニ就キ各自ノ意見ヲ諮フ

一 物價ノ變動

一 物産ノ輸出入

一 地價ノ變動

一 農家ノ生計

一 將來起ルヘキ事業

一 將來影響ヲ蒙ルヘキ事業

委員(中嶋技手) 奥羽鐵道ハ御承知ノ通り十二ヶ年間ニ於テ工事落成セントスルノ場合トナリ第一期線路ハ本縣ニ於テハ土崎湊ヨリ起工セントスル有様目前ニ迫リ現ニ青森弘前間ハ本年六月ヨリ開業セントスルカ如キ隨分急ナルコトニテ東海岸ヲ通過スル日本鐵道會社ノ實例ニ徴スルモ本縣鐵道ノ布設ニ至レハ物貨ノ輸出入ニ影響ヲ蒙ルヘキハ明ニシテ從テ本縣物産ノ販路ニモ大ニ關係ヲ及ホスベキナリ當今東海岸鐵道ノ運賃米穀ハ一噸一哩貳錢五厘ナルカ或ハ布設ノ曉ニハ八厘位ニ下ルニ至ルコトアルベク是迄馬背ヲテ高キ運賃ヲ支拂ヘタルモノカ非常ニ運搬費ヲ減セラル、ハ當然ニシテ之カ爲メ將來隆起スヘキ事業ハ數多アルベク輸出入共ニ増加スベケレバ自カラ安キモノハ欠乏ヲ告ケ自然物價騰貴シ又々東京宮城地方ヨリハ通常用フル製品未製品共ニ著シク輸入セバ其價格ニ變動ヲ起シ農業工業共ニ新ニ起ルヘキモノ或ハ是迄廢レタルモノモ起ルヘク現ニ畑作ニ於テ麥ナトハ必要アリナカラ興ラサルカ如キ他縣

ニ於テハ良畑トメ三四十圓位ノ地價ヲ保ツ可キ畑モ七八圓位ニテ賣買ヲ爲スハ畢竟農業ノ未タ進マサルト運搬ノ便ヲ欠キタルニ職由スルモノニシテ開通後は等ノ便ヲ享クルニ至リテハ畑作ヲ誘起シ地價ノ如キモ自然變動ヲ及ホスハ必然ニシテ農家ノ生計ノ如キモ或ハ割合ニ豊カニナルヤモ圖ラレス兔モ角是等ノ關係スル事柄ヲ調査スル必要アルヨリ本案ヲ提出セシ所以ニシテ本縣ニ於テモ各員ノ意見ヲ諮ヒ尙充分取調ヘタキ考ヘナリ

十八番須田 物價ノ變動トハ其物價品種ヲ銘ニ言フ義ナルヤ

委員(中嶋技手) 然リ可成委シク何トノ類ハ變動スルト御申述アリタシ

十二番柴田 物價變動ハ本縣ニ於テハ第一木材ノ如キハ影響ヲ蒙ルヘク且ツ山林ノ如キ皆伐セラル、ニ至ルヤヲ恐ルナリ物貨ノ如キハ勿論出ツルモノハ價格上リ入ルモノハ容易クナルカ故ニ低價ニテ買得ヘキノ利益アリ農家ノ生計等ニ至リテ或ハ衰弱ヲ來スベキモ物價ニ至リテハ輸出品高クナリ輸入品ハ安直ナルニ至ラン

會頭御意見ナレハ質問終結ノ後ニ於テ承ルコト、致シタシ

書記三號案ヲ朗讀ス

第三號

一 物産陳列場設置ノ件

理由

管内ノ物産ヲ蒐集シ又廣ク參考品ヲ需メ之ヲ陳列シテ常ニ衆庶ノ縦覽ニ供スルハ物産ノ改良發達ヲ計リ販路ヲ擴張スル上ニ於テ最モ利益アル方法ナリト信ス

種苗交換會並ニ農談會其他勸業諸會開設ニ際シ一定ノ建造物ヲ有セス常ニ以テ不便トセリ今物産陳列場ヲ設置スルニ當リテハ是等ノ諸會ヲ本場ニ於テ開會スルコト、セハ互ニ之ヲ

利用シ共ニ其効用ヲ完フスルノ利益アルヲ以テ其會場ヲ準備スルハ最モ必要ナリト信ス
依テ來ル明治二十八年年度縣費ヲ以テ左ノ方法ニ基キ物産陳列場ヲ設置セント欲ス其可否ノ
意見ヲ諮フ

方法

- 一 物産陳列場ハ秋田舊城内便宜ノ個所ニ新築スル目的ナリ
 - 二 物産陳列場ハ物産標本陳列場、出品陳列場、會話場ノ三種トス
 - 三 物産標本陳列所ハ管内ノ物産ハ勿論廣ク參考トナルヘキ物産ヲ陳列シ常ニ衆庶ノ縱覽
ニ供スルモノニシテ其組織ハ概テ左ノ方法ニ據ル
 - 一 列品ノ蒐集ハ可成多數ヲ要スト雖モ經費ニ關スルヲ以テ漸次完成ヲ期ス
 - 一 列品ニハ產地產額價格等可成精細ノ附札ヲナス
 - 一 管内生産物ニ限リ自費出陳ヲ請フモノアルトキハ之ヲ許スコトアルヘシ
 - 一 列品ハ左ノ各項ニ對スル説明書ヲ作り置キ便宜當業者ノ參考ニ供シ若クハ其請求
ニ依リ之ヲ開示スルノ用ニ供ス
 - 重ナル產地及需用地
 - 重ナル嗜好ニ適スル點
- 尙改良ヲ要スル點其他陳列番號、購得又ハ採收ノ場處及年月、品質、品位、用
方、寸法、割引等須知ノ事項
- 一 列品ノ外農工商事ニ關スル圖書、雜形、統計及商標並ニ特許ニ關スル書類ヲ備ヘ縱
覽人ノ閱覽ニ供ス

- 一 列品ハ可成部類ヲ分チ陳列ス
- 一 縱覽ハ無料
- 一 列品ハ時々之ヲ取替ルコトアルヘシ
- 四 出品陳列場ハ種苗交換其他共進會品評會等開會ノ時ニ當リ其出品ヲ陳列スルモノトス
- 五 會話場ハ農談會其他勸業上會話ヲ要スル時ニ當リ之ヲ用ユルモノトス
- 六 出品陳列場及會話場ハ時宜 依リ公私ヲ問ハス公益ノ目的ヲ以テ一時ノ使用ヲ請フト
キハ之ヲ許スコトアルヘシ
- 七 本場ハ場長一名事務員二名監守人二名小使一名ヲ常置ス但場長ハ主務課長ヲ以テ之ニ
充ツ

委員(兒玉)物産陳列場ノ社會ヲ益スルコトハ諸君ノ已ニ知ラル、所ナルヲ以テ之ヲ辨スルノ要ナ
シト雖從來府縣ノ中依テ以テ大ニ事業ノ進歩ヲ促シタル者鮮シトセス就中石川縣ノ如キハ最
モ進歩ノ著シキモノニテ其長足ノ進歩ヲナセルコト他ニ其比ヲ見サルヘシ該縣ハ今ヲ去ル二
十年前即明治七八年ノ頃之ヲ開設シテヨリ爾後汲々トシテ之カ擴張ヲ圖ルヲ以テ今ヤ純然タル
博物館トナリテ別品ノ價格殆ト二十八萬圓計リノ巨額ニ達セリト云ヘリ而シテ輪嶋ノ漆器沿海
ノ水産ニ於ケルカ如ク其地ノ物産ニ應シテ郡市ニ小陳列館ヲ設ケテ以テ大ニ獎勵ヲナセリ故
ヲ以テ該縣固有ノ物産タル輪嶋漆器并ニ九谷陶器ノ如キモ大ニ改良ヲ加ヘタルハ固ヨリ近頃新
ニ興リタル物産頗ル多シト云銅器、羽二重製茶、蠶糸業、麻、縮、米作ノ改良等凡世間ニアラユ
ル工藝ノ製品續々産出スルノ氣運ニ至レリ抑物産陳列場ナルモノハ今ヤ都鄙到ル所トシテ設
ケサルモノ稀ナル中ニ就テモ工藝ノ盛ナル三府開港場ノ如キハ是レヲ置カサルモ當業者ノ參

考上左程不自由ヲ感セサルモ當地方ノ如キ交通不便ノ地方ニアリテハ殊ニ其必要ヲ感セリ何トナレハ彼レ都會地ニアリテハ偶々之カ設ケナキモ千種万般ノ工業家及商賈ノアルアレハ參考上未タ必シモ便ナシトセス之ニ反シテ當地ノ如キハ陳列場アリテ初メテ僅カニ參考ノ便タラシムルヲ得ルニ過キサレハナリ之レ本案ノ計畫アル所以又種苗交換會及勸業上ノ會場ヲ合シテ設置セハ彼我ノ便宜鮮少ナラサルベケレハナリ

十二番柴田) 方法書中位置ハ舊城内トセラレタルハ如何

委員(兒玉) 是レハ種苗交換會ト勸業上ノ會場ト併設ノ積ナルヲ以テ他ニ適當ノ場所ヲ見出能ハス不得止舊城内ニ設置スルコトトセリ就テハ他ニ適當ノ場所アラハ御意見承知致タシ

十三番木下) 物産陳列場ヲ設置スルモノトセハ其費用大概何程ナルヤ

委員(龍田) 詳細調査セサルモ大体ノ取調アリ參考ニ供セン而シテ舊勸業場ノ建物ハ他ノ所管ニナリタル以テ交換會其他共進會ナトヲ開會スルモ他ニ開會ノ場所ナキヲ以テ是等ノ諸會ヲ合セ成ル得ル様ニ一ノ建築物ヲ設立セントスルニアリ其豫算左ノ如シ
一金五千七百二圓

内

金四千三百七拾七圓

是ハ家屋建築費總建坪二百五十九坪木造平家建

内譯

金二千九百五拾二圓

物産陳列場百六十四坪 一坪ニ付金十八圓

金千三百五拾圓

農産出品陳列場九拾坪 一坪ニ付金十五圓

金七拾五圓

便所二ヶ所建坪五坪

金四百圓

門柵及地均シ費

金七拾圓

陳列臺并箱類

金三百圓

列品蒐集費

金百二十圓

需用費

金十五圓

郵便電信費

金五圓

印刷費

金百五十五圓

雜給

是ハ小使一人一ヶ月五圓十二ヶ月分六拾圓看守一人一ヶ月金四圓二人十ヶ月分金八十圓臨時雇人夫百人一人一日金十五錢此金十五圓

金二百四十圓

俸給

是ハ縣吏員二人一人一ヶ月拾二圓一人一ヶ月八圓十二ヶ月分

金貳拾圓

雜費

是ハ借地料及ヒ雪圍并ニ開場式其他ノ雜費

委員(兒玉) 尙物産陳列場ノ物品蒐集上ノコトニ付一言セン即明年ノ内國勸業博覽會ハ各府縣ヨリ工藝品及其他種々ノ物品蒐集シアルカ故ニ此好機ヲ以テ購入セハ別ニ各府縣ニ照會スルナトノ繁雜ナキヲ以テ大ニ費用ヲ節減シ其物品撰擇上非常ノ便利ヲ得ルナリ一寸御參考迄申述ヘ置カン

十一番村山) 物産陳列場ヲ設置シ他ノ諸會ニモ用ユル積ナルヤ左スレハ其節物品ヲ取方付ケル等ノ不都合ヲ生スヘシ如何

委員(兒玉)是レハ圖面ニアル通り建築物中何レモ別室ヲ設ケアルナリ
三番(枅岡)本案ハ最モ必用ノ問題ニシテ大ニ賛成ナレハ別ニ意見ヲ述ブヘキモ質問スヘキ條項
ナシ

會頭最早十二時ナレハ喫飯ニセン

午後一時四十五分開會

會頭(枅垣)午前ニ引續キ開會セン

十九番(志賀)方法中第一項第三節ニ管内生産物ニ限り自費出陳ヲ請フモノアルトキハ之ヲ許ス
コアルベシトアリテ而シテ前段第三項ニ管内物産云々トアルハ如何ナルコトヲ指スモノナルヤ
委員(兒玉)自費出陳云々ニ對スル御尋ハ仮令ハ蔬菜果物即大根ノ如キ又ハ盆栽ノ如キ季節アル
物品ハ自費出品スルモ差支ナシト云フ意味ニシテ是等ハ出品人各自ノ隨意ニ任ストノ意ニテ
買上クル等ノコトナキモノナリ

書記四號案ヲ朗讀ス

第四號

一 漁業者ヲシテ他縣有名ノ漁業地ニ派遣視察セシムルノ可否及其費用支辨ノ件

但派遣員ハ四名トシ二行ニ分チ一行二名トス一ハ新潟、石川、富山、福井ノ四縣一ハ岩手、茨
城、宮城、福嶋、千葉ノ五縣トス

理由

本縣水産事業ハ海面漁場ノ廣大ナルニモ拘ハラズ他縣ニ比シ頗ル幼稚ナルヲ以テ縣下沿海

ノ當業者ヨリ撰拔シ左記方法ニ基キ各地ノ現況詳細調査セシメ其結果ニ據ツテ誘獎ヲ加ヘ
本業ノ改良發達ヲ圖ラント欲ス而シテ其費用ハ一名平均百六圓三十四錢トシ各漁業組合資
金ヨリ支出セシメ其半額ハ縣稅ヨリ補助セント欲ス依テ其可否ノ意見ヲ諮フ

視察方法

一 漁業視察員ハ二行ニ分チ一行二名ト定メ一ハ西海岸新潟外三縣一ハ東海岸岩手外四縣
ニ派遣ス

二 視察員ハ沿海主要ノ漁村ニ就キ將來本縣ニ於テ興スヘキ見込アルモノ、取調ヲ要スル
モ概テ左ノ各種ヲ主トシ詳細ノ調査ヲナスモノトス

鰯 鯖 鱈 烏賊 鮪 鱒 鮫 鱈

漁具 漁船及付屬品ノ構造素質及價格

漁法、漁船乗込人員若クハ遠海漁ナレハ其出漁ノ海里、日數及手當等總テ操業上一
切ノ方法

海底ノ深淺及泥砂岩礁ノ區別

漁獲物賣捌ノ順序

漁獲物製造法

漁獲物販賣價格

三 視察員ハ漁業上ノ實查ヲ要スヘキモノニ付必ス實地ニ出漁シ操業ノ模様ヲ調査スルヲ
要ス但遠海漁及天候ノ如何ニヨツテハ此限リニアラス

四 網主ト網子ノ契約及兩者關係ノ有様

五 漁村生計ノ概要及業務ニ從事スル勤怠ノ狀況

六 漁村貯蓄ノ方法及其地重ナル種類ノ大漁アリシトキノ特例

七 視察員調査ノ事件ハ歸縣後直チニ詳細ナル復命書ヲ作り縣廳へ報告セシメ及各漁業組

合ハ報道セシムヘシ

十三番(木下) 漁業ニ就テハ以前東京ニテ網其他ノ件ニ付取調ベタルコト在リシモ終ニ取纏ムル運ニ至ラサリシカ本案ハ實ニ必要ノ事ト考ラル此ノ費用ノ積リ方ハ加何

委員(中松) 是ハ凡一行ノ旅行日數ヲ百日トシ新瀉、富山、石川、福井等ノ四縣ノ里數ハ片道百六十七里往復三百三十四里一里ノ車馬賃ヲ拾錢トシ三拾三圓四拾錢其管内巡回ハ一縣凡ソ四里トシ金拾六圓往復滞在日數百日一日金五拾錢トシ此金五拾圓西海岸ハ乃チ都合九拾九圓四拾錢ナリ

一方東海岸ノ一行ハ一名分百拾三圓貳拾錢ニシテ内四拾八圓貳拾八錢ハ汽車賃陸路往復旅費拾五圓ハ岩手外四縣巡廻里數一縣三十里トシ五縣分百五十里ノ車馬賃五拾圓ハ往復滞在日數百日分トシ總計貳百拾貳圓餘トナルナリ

十三番(木下) 日數ハ往復ヲ除キ百日分ナルヤ

委員(中松) 滞在往復トモ百日間ナリ

十八番(須田) 魚類ノ名稱中ニ鯨、海豚、鯨等ヲ除キタルハ加何ナル主意ナルヤ又魚ノ漁獲高ノ不足ナルモノハ調査ナサレルノ見込ナルヤ

委員(中松) 鯨ノ如キハ將來充分望ミアルモノ故本按ニモアル通り掲ケサル魚類ニテモ無論調査スル積ニテ本案ノ付記シタル魚類ハ重ナル望ミアル種類ナリ

委員(兒玉) 鯨ノ取調ニ關シハ別ニ計畫スル所アリシカ時日ノ餘裕ナキヲ以本會ニ提出スルニ

至ラス鯨ノ繁殖法ニハ二途アリ一ハ自然ニ産出スル魚卵ヲ保護スルト一ハ人工孵卵ノ法ニシテ御物川、米白川等ニ放流スルノ調査ナリ目下取調中故御參考ノ爲メ一言ヲ述フ

委員(中松) 總体四郡漁戶ハ統計上六千七百三十三戸ニシテ磯漁戶數六千七百七十戸沖漁ハ僅ニ五百六十二戸ナリ之ニ依リテ觀レハ本縣沖漁ノ開ケサルコト明ナリ今其漁獲金額ヲ述フレバ漁獲總高金ハ拾五萬四千九百六十五圓七拾七錢八厘ニシテ磯漁高ハ拾參萬三千百拾八圓五十四錢四厘沖漁高貳萬千八百四拾七圓貳拾三錢四厘ナリ今漁戶ノ平均ヲ調ルニ磯漁一戸ニ付貳拾一圓五拾七錢五厘沖漁一戸ニ付三拾八圓八拾七錢四厘差引拾七圓貳拾九錢九厘ハ沖漁一戸ニ付テノ増獲ナリ而シテ一萬圓以上ノ漁獲高ヲ有スル種類ハ磯魚ニ最モ多シ鯉、鰻、鯪、神魚ノ如キ磯中尤モ漁獲ノ多キ種類ニ屬ス本縣ニテハ沿海七十里ヲ有シ漁場ノ區域極メテ廣ク之ヲ改良スルニハ先ツ當業者ノ耳目ヲ啓クハ尤モ必要ナルヲ以テ各縣有名ナル漁業地ノ現況ヲ視ハ自カラ奮テ改良ノ志想起ルベク從ツテ一已ノ及ハサル所ハ本縣ノ補助ヲ加ヘ改良ヲ行ヒ得ヘクツマリ百聞一見ニ加カサルノ譬ノ如ク現況ヲ一見セシメ其改良ノ方法ヲ發見セシメントスルハ本案提出ノ一因ナリ又三名トモシハ概テ漁業者ノ如キハ文字ヲ解スル事能ハサルモノ多ク又ハ文字ナルモノハ多ク實業ニ粗キモノナルヲ以テ撰擇方ハ一名ハ各漁業組合中ヨリ一名ハ實業者ヨリ撰拔スルコトトナシ郡役所ニ於テ取調シメ取捨スルコトトナス積ナリ

十三番(木下) 近年打續キ不漁ナリシカ唯今委員ノ述ベラレタル事ハ何年ノ調ナルヤ

委員(中松) 二十四年中ノ事實ヲ農商務省ノ訓令ニヨリ取調タルモノナリ

十一番(村山) 本案ハ日本海ニ面スル四縣ト東海岸五縣ハ漁具漁法異ナルヤ當局者ニ於テハ取調

上適當ナルケ所ト認メタルニ因ルナランカ現時漁業ヲ以テ世ニ知ラレタル北海道ハ取調ヲナスノ必要ナシトハ考ナルヤ今一ハ本縣漁獲法ノ發達セサル爲メ其良方法ヲ見出サントスルニアルヤ

委員(中松) 縣廳ノ見込ハ日本東南海ハ西北海ト其事情ヲ異ニシ隨テ其縣ニ又有名ナル漁獲種類アルヨリ斯ク方針ヲ取リタルモノニシテ北海道ノ如キハ漁獲ノ種類ト云ヒ製造品ト云ヒ其他方法等殆ント同一ナルカ如シ故ニ一應北海道モ取調ベ置カントセシカ日數ノ多キト費用ノ増加スルニ比シ其取調ハ本縣ニテ充分取調附クモノナル故省キタルナリ第二ハ御問ノ如ク感セラル、ナリ種類中本縣コテモ漁獲スルモノアレトモ漁法ノ達發セサル爲充分漁獲シ得ザル種類アリ是等ハ充分調査ヲ爲サザル可カラサルモノナラン而シテ掲ケタル種類ハ乃チ此趣意ニ外ナラス

十三番(木下) 紳ハ種類中ニ記載ナキハ本縣ニ限り漁獲セラル、種類故ニ別段調査スルノ必要ナキニ依ルカ

委員(中松) 御問ノ如キ考ナリ

十八番(須田) 本員ハ別ニ質問ナシ明日ヨリ種々意見ヲ述フル事トシテ本日ハ是ニテ退散スルコト、セラレタシ

十三番(木下) 百日間ノ日取ハ是丈ケノ種類ハ取調ノ出來得ルモノナルカ又ハ出來得サルモ費用ニ關係アルヲ以テ此日數ニ定メタル譯ナルヤ

委員(中松) 大抵一縣ノ滞在日數多キハ二十日間尤モ少クシテ十日間滞在ノ見積ナリ調査員ハ可成漁船等ニ乗込ミ實地見聞ノ見込ミ乗込得サル場合ハ海濱ニ於テ其方法其他實物ニ附キ調査

シ豫メ何縣何處ハ何種類ト宛ラ定ムルヲ以テ二十日乃至十日滞在スレバ十分調査シ得ル見込ナリ

一番(長岐) 別ニ質問ナシ熟考ノ上種々明日意見ヲ申述フルコト、シ本日ハ是ニテ散會アランコトヲ請フ依テ十八番ヲ賛成ス

委員(中松) 一言ヲ申述ベシ本家中各漁業組合ヨリ支出セシムルトアルハ沿海漁業組合七ヶ所ニアル資金ニシテ是ノ金額ニ多少アレトモ多少積金ヲ持居レリ其積金ノ性質ハ漁村ノ維持漁具漁法ノ改良等ヲ圖ルタメ積ミ居ルナリ本年四郡聯合海産品評會新屋ニ開キ其際水産集談會モ開クルナレバ此時ニ本案同様ノ諮問ヲナス積ナリ此邊御含ミアリタシ

十三番(木下) 十八番ノ意見ノ通り質問終リタレバ明日ヨリ意見ヲ述フルコト、ナシ散會セラレタシ

會頭(檜垣) 然ラバ本日は是ニテ散會セン

于時午後二時五分

十四日午前第十時開會

會頭(檜垣)是レヨリ開會セン本日ハ第一號案放牛馬取締ノ件ニ付意見ヲ述ヘラレタシ

委員(龍田)昨日一番三番ノ質問ニ答ヘン取調タルコ本縣ニテハ放牛馬取締ニ關シ法令ヲ發セシ

コトナシ唯刑法第四百二十八條第八項及其他ニ於テ少シク關係セシコトアルモ何レモ本案ニ該當セシモノナシ

十番(島山)放牛馬取締ノ件ハ是レ迄禁止セシコトナキヲ以テ更ニ之ヲ禁止セントスル義ナルヤ委員(龍田)然リ

十番(島山)山本郡仁耐地方ノ如キハ木戸口ヨリ直ニ牛馬ヲ放牧スルヲ以テ宅地内或ハ田圃ニ自在ニ入り妨害ヲナス不少サルニ付村方ニ於テ種々協議セシモ數十年來ノ習慣ナレハ之ヲ改ムルコト容易ナラス故ニ之カ取締法ヲ設クルハ尤モ必要ノ件ナリトス而シテ其取締法ハ一定ノ方法ヲ設ケス其村々ノ便宜ニ任カスル方宜カルヘシ是レ各村々各其狀況ヲ異ニスルヲ以テナリ當地方ノ如キ青草ノ發生セシ頃ハ五六十頭位一定ノ場所ニ放牧シ取締人ヲ付ケテ放牧シ秋季ハ又一定ノ場所ニ限リ適宜地區ヲ替ヘ放牧スルコトアリ

委員(龍田)取締法ヲ設クルトセハ違反者ハ違警罪ヲ以テ所分スル難ナルヤ

十番(島山)是迄ノ法令ニナキモノトセハ違警罪ノ條項ヲ加ヒ嚴重ニ取締セン

三番(柿岡)違警罪條項中凡ソ家畜ノ類他處 逸走スルモノハ之ヲ遺失物ト稱スルヲ得スト雖トモ其主ヨリ之ヲ官ニ報シ及ヒ得者ニ其費用ト報勞金ヲ給支スルコト、又他ノ條項ニ於テ他人ノ財産ヲ毀損スルトキハ律ニ照シテ處分ス云々トアレハ大凡ソ右ノ規則ニ含蓄セラル、カ如シ

十一番(村山)大概十番ニ賛成セン

三番(柿岡)本員モ十番ト同感ナリ

十八番(須田)本員モ大体十番ニ賛成ナレトモ余リ取締法ヲ嚴ニスルトキハ却テ畜産家ノ困難スルコトアルヘシ

一番(長岐)十番ノ說モアレトモ北秋田郡地方ニアリテハ其取締法余程進歩セリ即チ元ト厩ヨリ直ニ放牧セシカ目下ハ悉ク番人ヲ附シ放牧スル様ニナレリ故ニ本件ニ關シテハ余リ嚴重ニセサル方宜カルヘシ

十番(島山)一番ノ說ハ取締法ヲ設ケサルモ宜シキ様ナレカ如何

一番(長岐)昨日委員ノ說明ニ依レハ一定ノ柵ヲ設ケタル場所ニアラサレハ放牧スルコト能ハサルコト、思居リシカ番人ヲ付シ山野ニ放牧シ差支ナキ以上ハ別ニ此方法ヲ設クルノ必要ナシ

十番(島山)山野ニ番人ヲ附シ放牧スルコト差支ナキモ一定ノ場所ニ放牧スルモノトセハ却テ差支フルコトアリ即チ今日甲地ニ放牧シ明日乙地ニ放牧スルコトアリ又種類混合ヲ恐レテ之ヲ各所ニ放牧スルコトアレハ之レハ村方ノ協議ニ任セ差支ナカルヘシ

會頭(檜垣)一番ハ取締法ヲ設ケスト云フ意見ナルヤ

一番(長岐)然リ之ヲ設クルノ必用ナシト思フ即チ馬産地ノ多クハ山間ニシテ強テ人ヲ附スル必要ナキヲ以テナリ

四番(安部)鹿角郡地方ハ前述スル如ク八十八夜後ハ番人ヲ附スルモ八十八夜以前ハ厩ノ木戸口ヨリ直ニ牛馬ヲ放牧スルヲ以テ田島ヲ蹂躪スルコト少カラサレハ十番ノ說ノ如ク取締法ヲ設クルコト、セン

十一番(村山)十番ノ說ハ凡テ番人ヲ附スルモノトセハ土手或ハ柵ヲ周圍セシケ所モ番人ヲ附ス

ル譯ナルヤ

會頭(檜垣) 十番ノ説ハ逸出ノ憂ナキ所ハセサルモ其他田畑ヲ蹂躪スル虞アルトキハ番人ヲ附スル様ニ心得居レリ

十一番(村山) 一番ハ取締法ヲ不用トセラル、カ別段反對スル譯ニアラサレトモ若シ無之モノトセハ必ス他ノ弊害ヲ生セサルヤ

一番(長岐) 産馬上害ナルヨリ述ヘシナリ山本郡能代地方ハ土手或ハ柵ナキ處ヘ馬ノ足ニ繩ヲ附シ放牧シ又大松川荒瀬等ノ如キハ別ニ柵其他ノ防碍物ナク勝手ニ放牧シ居レリ然ルニ之ニ柵ヲ付セサレハ放牧出來ストノコトハ到底行ハレサルヘシ又本郡ノ牧場ノ如キモ一定ノ牧場ヲ定メ放牧スルコト容易ナラス

委員(龍田) 是非柵及土手等ヲ設ケサルヘカラスト云フニアラス他ニ逸出ノ患ナキケ所ハ強イテ設置セサルモ差支ナシ故ニ本案ノ主意ハ濫リニ放牧スルノ弊ヲ矯正スルニアリ故ニ他ニ方法ナキ否ノ御意見ヲ承知シタキ見込ナリ

十番(島山) 參考ノ爲申述ヘシ川原近傍或ハ樹木ノ下ニ馬匹ヲ繋キ放牧スルモノアリ是ハ馬産上宜カラサレトモ是ハ足ヲ繩ニ付スルヲ以テ放牧ニアラス又老馬ニ至リ不用ナレハ之ヲ山野ニ放棄シ願ミサルヲ以テ徒ニ他ノ田畠ヲ蹂躪シ間々道路ニ倒ル、ヲ以テ此等ハ不少サル防害ヲナスモノナリ

十九番(志賀) 本員モ十番ト同感ナリ

十二番(柴田) 雄勝郡内ノ牧場ハ何レモ村ノ近傍ニアラスシテ大概子官山ニ放牧スルモ是レトテ其借地料高價ナルヲ以テ放牧スル少ク從テ本地方ニ於テハ此等ノ方法ニハ其關係少ナケレト

モ暫ク取締ヲ設クルコトニ賛成セン

十四番(加賀谷) 十番ハ違警罪ヲ以テ違反者ヲ處分スルトノコトナルカ然スルトキハ畜産發達上却テ不利益ノコトアルヘシ故ニ本員ハ十番ノ説ヲ取ラス

十番(島山) 法ニ違反スルモノハ矢張り之ヲ罰セサレハ到底之ノ方法ヲシテ實行成就スルコト能ハサルヘシ

會頭(檜垣) 本件ニ付昨日來段々御審議相成リ御意見モ畧盡キタル様ナリ依リテ之ヲ起立ニ問ハサルモ可トスルモノ多數ナレハ本問ハ之レヲ可トスルモノト認ム最早十二時ナレハ是レニテ休會セン

午後一時五十分開會

會頭(檜垣) 午前ニ引續キ開會セン

會頭(檜垣) 第二號按鐵道ノ布設ハ本縣産業ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤニ付御意見ヲ述ラレタシ委員(中島) 參考マテ申述ヘシニ鐵道ノ運賃ト海路乃チ水運ノ賃錢ヲ比較取調フルハ必要ナラン

本縣布設ノ鐵道哩數ハ判然ナラヌ故精細ナル取調ハ未タ出來得サルモ物貨ニ據リ運賃ノ異ニセルヲ掲ケタル表アリ御用ノ方ヘハ差上ヘク而シテ海路ノ表ハ未ダ十分ノ取調ナシ

會頭(檜垣) 昨日十二番ハ鐵道ノ事ニツキ御意見中止セラレシカ此際御陳述アリタシ

十二番(柴田) 本按ノ鐵道布設ノ曉ニ際スレバ物價ハ大ニ變動ヲ來サン而シテ縣内物産ハ主ニ幸福ノ点ニ赴キ輸入貨ハ此鐵道ヲ利用シテ割合ニ低價トナルナラン又木材米穀ノ如キモ幸ナルベク農家ノ生計等ハ已レカ資力ノ續ク限リハ東京見物ト出掛ケ困難ヲ喚ビ起ス事トナラン就

中養蠶業ノ如キハ振興スベシト雖トモ今ヨリ覺悟スルニアラサレバ他縣人ノ爲メニ繭ヲ買收セラレ蠶糸業ニ影響ヲ來スナラン

十一番(村山) 只今布設ニ付意見ヲ述フル前ニ昨日右ニ付御尋ス可キ所ナルニ取落シタル廉ヲ質問致スベシ今般諮問按トシテ如斯御問ヲ發セラレタルハ固ヨリ鐵道布設ニ至レバ縣内物産ニ少ナカラサル影響ト變動ヲ喚ビ起シ是レカ爲メ蒙ル所ノ間接直接ノ利害ハ尤モ注意ヲ要スルモノナルヨリ出サレタルモノナランカ先キ立テ既ニ近縣ニ於テ鐵道通行セシ所在ル場合故縣應ヨリハ夫々當局者ヲ派遣シテ其布設以來ノ影響又ハ變動等ヲ取調フル豫定ナルヤ或ハ單ニ各自ノ意見ヲ諮問スル丈ケノ事ナルヤ

委員(中島) 諮問按ニ付キチバ縣廳ニ於テハ充分調査スル積ナレトモ十一番ノ陳述セラル、如ク近縣ニ人ヲ派遣シ調査スル等ノ廳議ニハ至ラサリシモ最重要ノ件ナルヲ以テ十分取調フル積リニテ各自ノ御高見ヲモ種々拜聽シ他日之ヲ參考トシテ獎勵スヘキハ之ヲ獎勵シ施設ヲ要スヘキモノハ夫々計畫スルコトアルモ兎角諸君ノ高見ヲ得ント欲スルニアリ

委員(兒玉) 十二番ノ說ニ蠶糸業ニ影響スルト云ハレタルハ如何ナル點ニアルカ願フハ其理由ヲ承ハリタシ

十二番(柴田) 蠶糸業ハ追々起ルベキ事業ナルモ製糸ノ如キハ今日此際ニ於テ起ラサレバ他縣人ノ入り來リ購買立セラル、ハ争ヘ得ザルモノトナラン雄勝郡ハ本縣產出ノ生糸等其半バヲ占メ居ルト雖モ未タ甚々幼稚ニシテ製糸家中暖簾ヲ下ケタルモノナシ近縣ニ於テモ暖簾ヲ下ケタル甚々少シトスルモ銳意今ヨリ斯ノ製糸ノ改良ニ着手スルコアラサレバ到底他縣ノ製糸家ト競争シ得ベカラサルト信ジ大ニ憂ヒ居ル所ナリ

十番(島山) 物産輸出入トハ將來鐵道布設ノ上如何ナル物産カ輸出増加シ如何ナル貨物カ減少スルト云フ義ナルヤ

委員(中嶋) 現在アル物産ニシテ或ハ海運ニヨリ或ハ陸路ニヨリ輸出セラレツ、アルモ一旦鐵道布設ノ曉ニハ種々ノ物産ハ海路ヨリ入りタルモノカ氣車便ニ頼リ陸路ヨリ入ルトカ又ハ東ニ販キタルモノニシテ西ニ輸出スルト云フ如キ輸出入上如何ナル景況ヲ呈スルヤ謂ナリ

十番(島山) 荷車東京迄一臺借り切リトスレバ凡ソ何程ノ價格ナルヤ
十一番(村山) 夫レハ委員ニ對シテノ問ナレトモ大抵一噸一哩壹錢ナリ尙本問題ハ本縣ニ取テ頗ル重大ノ件ニシテ最モ重ヲ置カサルヲ得ス之ニ重ヲ置ク者トスレバ只各自ノ想像論而已ヲ以テ意見トシテ陳述セラル、カ如キハ輕卒ナル處置ト思考ス委員ノ說ニ依レハ各自ノ意見ハ參考トシ他日調査ノ方針ナルヘキ一ノ資トナル趣ナレバ證據立ザル想像說ノ如キハ感心セサル所ナリ依テ二十七年度諮問會ハ可成早ク開キ本問題ヲ其間ニ於テ各自ノ十分ナル調ヲ遂ケ現ニ今日鐵道開通セル各縣ニ於テ蒙ル所ノ利害得失ヲ考ヘ勿論土地ニヨリ異同アルヘキモ大差ナキ點ニ於テ取調ヘ其際充分討議スルコト、ナシ今日此席ニ於テ證據立タサル無責任ノ說ハ無益ナルベケレバ本員ハ本問題ヲ廿七年度ニ延期シ縣廳ニ於テモ充分調査ヲ遂ケ尙ホ諸君ニ於テモ此中近縣ヲ通過スルコトアルベキニ依リ實地ニ付キ尤モ慎重ニ調査セルモノニ就テ充分討議スルコト、シテハ如何

委員(中嶋) 十一番ノ只今述ヘラレタル御意見ハ尤モ結構ナリ付イテハ各會員ニシテ近縣ノ景況ヲ實地調査スルハ銘々勝手ニセラル可キ乎又ハ何カ方法ヲ設クル積ナルヤ
十一番(村山) 調査ヲ要スル爲メ會員中互撰調査委員ヲ設クル等ハ費用ノ點ニ關係スルコト故余

ヲ省キテハ財産多キ方々多ケレバ其中東京ニ行カレ又ハ近縣旅行セラルベケレバ其通過スル縣々ニ就キ夫々調査シ其實況ヲ參酌シ討議スルコト、ナサン是レ本問題ニ重ヲ置キタル次第ナリ

三番(栢岡)鐵道ノ事タル多少ハ管内何人モ有益ノ事タルヲ知レハ縣ニツキ調査ニ至ラサルモ尙各自御考アルコト、信スルヲ以テ一應審議シ各自ノ平生抱負スル説ヲ陳辨シ置クモ他日又參考トシテ宜キ事モアル可シト思考ス故ニ本日ハ本日丈ケノ思想ニテ充分審議スルコト、シテハ如何

十一番(村山)三番ノ如ク今日此席ニ於テハ各自ノ説ヲ吐露スルモ其事柄想像ニ止マルトキハ一縣ノ大方針モ想像ニ據リ定メラル、結果トナリ輕クノ嫌ナキヤヲ免ヌカレズ然レモ今日ノ所ハ三番ノ説ト大差ナシ

會頭(楢垣)此條項ニ就キテハ委員ヨリモ陳述ノ如ク縣廳ニ於テ出來得ル丈ケハ取調ヲナシ報告其他手ヲ着クヘキ事ハ手ヲ着クル事トシ今日集リタル方々モ是迄隨分御實見ノケ處又ハ考案セラレタル事柄モ有ルベケレバ精確ナル調査上ノ事ハ兎モ角今日ハ今日丈ケノ御思考ヲ腹藏ナク承ルハ必要ナレバ必シモ六ヶ條ニ限ラス此中ニ就キ思ヒ付キタル一二ヲ上ケテ御意見ヲ陳述アリテモ宜シク本件ハ頗ル重大ノ件ナルヲ以テ十分御意見ヲ述ヘラレタシ

十三番(木下)物産ノ輸出入ハ余ノ考フル所ニテハ輸入品増加シ輸出品減少スルナラン山形、越後ノ如キハ仲々物産多ク他ニ輸出スルモノ饒多ナルベキモ本縣ノ物産ハ少ナキニ非レトモ只々縣内ノ需用ヲ充タスニ止リ輸出スル物産殆ント少ナシ然レトモ米ノ如キ鑛物ノ如キ天產物

及養蠶ノ如キハ別物トシ其他ハ僅少ナルレバ運輸交通ノ便開グルト共ニ輸入増加シ輸出割合ニ増加セザルベシ儲テ何ノ物貨多ク入り何種ノ物産盛衰スド云フハ即答スルコトヲ得サルモ鐵道開通ノ時機ニハ輸入増加シ輸出割合ニ少ナク不平均ノ景況ニ陥ルナラント思考スルナリ

三番(栢岡)本問題ヲ各項ニ區別シ順序ニ答フルコト、シテハ如何
會頭(楢垣)三番ノ説ノ如クシテ一向差支ナシ

三番(栢岡)十二番ニ於テ物價ノ變動ニ就キテ御談アリシカ
十二番(柴田)物價ノ變動ニ就キテハ別段考ナシ

十番(島山)本問題ニツキ先キ十一番ノ説ク如ク本員ノ意見ニテモ結局想像ノ説ニ歸ス只青森岩手ノ鐵道ニツキ取調アレモ縣廳等ニ付キ調ヘタルニアラズ往來ノ旅人或ハ一二ノ人ニ付得タルモノニテ精確ナル者トスルニ足ラス若シ精確ナル調査ヲ得ンニハ時日ノ餘裕ナケレバ能ハス今述フルモノハ推測ニ外ナラス今三番ノ請求モアリ一項毎ニ述フルコト、ナリタレハ先ツ物價ノ變動ニ對シ述ベシ

物價ノ變動 此鐵道カ落成スルニ至ルモ物價ノ上ニ於テハ格別驚ク可キ變動ナカラン何トナレバ本縣物産ノ重ナル米穀、鑛物、水産、絹糸、木材等ニシテ量目ノ多キ物産ノミナレバ鐵道開通スルモ大ニ販路ヲ擴張スルト云フ事モナク米穀ハ從來ノ如ク水運ニ依リ北海道大坂等ニ回送セラルヘケレハ大ナル變動ナシ鑛物ニ至リテハ其販賣スルケ所ハ他ノ物産ト異ナリ東京等一定ノ場所ニ輸送セラル、モノ故是レハ從來ノ如ク舟運ニ依ラズシテ鑛山最寄ナル便宜ノ所ロヨリ直チニ瀛車ニ積込ムモノナランモ到底大ナル價格ニ影響ヲ及ホスコトナカルベシ水産物ハ多少鐵道ノ便ニ賴リ輸送セラル、ニ至ル可ケレトモ其重ナルハ粕干鰯ノ如キ量目ノ多モ

ノハ何レモ水運ニ依ル可ケレバ是レモ大ナル變動ナケン製糸ノ如キモ本縣ヨリ輸出スルモノ少ク却テ繭ニテ多ク販賣セラルベシト信ズ是レ亦價格上大ナル變動ナカルベシ牛馬ノ如キモ差シタル影響ヲ受ケス木材ハ是迄多分船ニテ運漕セシカ鐵道開通セハ之ニ依ルモノト思考ス元來秋田木材ハ寸甫ヲ多ク出ス所ニシテ百石目乃チ三百二十本位ヲ水運ニテ送ルトキハ七拾圓ノ船賃ナリ然ル 汽車ニテ運送スルニハ百石目一哩五錢トシ六百哩ナルキ三拾圓ノ運送費ナルヲ以テ大ニ利益アリ故ニ是等ハ船便ヨリ汽車ニ依ルハ一般ニ便益ナルニヨリ價格騰貴スベシ然レトモ寸甫賣買上ノ全体ヨリ通觀スレバ新瀉、伏木、越中、能登、加賀等ニ向ヒ澤山輸送セラル、ヲ以テ大ナル變動ヲ惹起スコトナカルベク其他小物産ハ種々變動ヲ起スモノアルベシト雖トモ本縣重要物産ト稱ス可キ者ハ大路上來陳述セシ如キモノナラン又輸入物中鹽ハ金高多ク且ツ重要ナルモノナルカ是等産地ヨリ直ニ船便ニヨリ來ル故鐵道敷設ト共ニ別段價格低廉ニ赴クコトナカラン藥品、織物、小間物類ハ汽車ニ依ルナランモ砂糖、紙類ハ從來ノ如ク舟運ニ依ルヲ以テ價格變動ナキモノト信ス之ヲ概言スレハ本縣輸出物ハ價格騰貴ノ氣配ニ傾向シ輸入物ハ幾分低價ニ赴ヘク結局本縣ニ取テハ甚タ喜フ可キ物價ノ變動ト云フ可キナリ先ツ物價ノ變動ニツキ概陳シ尙他ノ件々ハ後ニ述フル所アルベシ

三番(柿岡) 十番ノ述フル所口本員ノ考ト稍同一ナレトモ些少ノ異リタルニ二ノ點ニ就キ考案ヲ述ベシ水産上ニ於ケル干鰯ノ如キ舟便ニテ遠ク運漕販賣セシカ山形近接ノ地方ハ魚類ニ乏シク明日ニモ此ノ鐵道開通センニハ當地ノ鮮魚ハ彼地ニ多ク輸出セラル、ヤ必セリ聞ク處ニ據レハ宮城縣ニテハ東京ニ向テ米穀等ノ輸出夥多シキ模様ナルカ鐵道開ケサル以前ハ舊幕ノ頃ヨリ仙臺米トシテ知ラレタレトモ極少量ナルモノニテ今日ノ如ク多額ノ輸出ナカリシト云フ

左レハ本縣ニ於テモ米穀ノ輸出ハ一層進ムニ至ラン物價ノ變動ノ如キハ十番ト同シク大層ノ異動ナカルベシト信ズ又鐵道布設ハ金利率上ニ大ナル變動ヲ起シ銀行ノ如キ大ニ影響ヲ蒙ルヘク當地銀行ノ如キハ金利率他ニ比シ高キハ金融ノ途未タ開ケサルニ因ルナラン舊藩時代ニ於テハ半ケ年分以上或時期ニ至レハ巨多ノ資本ヲ投シテ過分ノ仕入品積置ノ習慣ナリシカ汽船ノ便前キニ起リ汽車ノ便利續イテ開クルニ至リ高利ノ資本ヲ以テ多分ノ物品ヲ仕入レ積置ク必要ナキヨリ是等ノ輸入物價ハ凡テ低廉トナルベク要スルニ鐵道ニヨリ起ル事情ハ寧ろ幸ニシテ不幸ヲ享クルコトナキモノナラン

委員(兒玉) 金利率下ルモノナルカ如何

三番(柿岡) 金利率下ルモノナラン何ントナレバ金融ノ頻繁ナルニ從ヒ金利率低下スルノ理アレバナリ

十番(島山) 三番ノ說ナルカ米ハ幾分カ仙北地方等ヨリ輸出スルナランカ秋田米價ト東京今日ノ米價ト彷彿スルヲ見バ異動ヲ起スコトナカルベク水産物ナル鮮魚ハ山形又ハ福島地方ニ販賣セラル、ニ至ランモ一小部分ノ騰貴スルモノニテ全体ノ多數上ヨリ鮮、鯉ノ如キ粕ニテ販賣シ鮮魚ノ賣買ノミコテハ大ナル變動ナカラシ

三番(柿岡) 神魚、鯉ハ管内各地生魚トシテ需用外ノ餘分ハ搾洋又ハ之ヲ干鰯トナシ他ニ輸出セラレシカ山形ノ如キ殆ント生魚ヲ口ニセサル地方茲ニ澤山現ハル、場合必ス鐵道ニテ運送販賣セラル、ニ至リ自然價格昂ルハ無論ノ事ト信ズ十番ト此邊少シ見解ヲ異ニスルナリ

十三番(木下) 米穀類ハ鐵道ノ便利開クルト共ニ各地方價格ノ平均ニ歸着セントス可ケレトモ今日ノ價格ニ比較シ大ナル變動ナカラシ又三番十番ノ水産上ニ關スル說アレトモ是逆別段ノ動

キナカラシ何トナレバ仙臺元ト鉄道開通前ハ魚類ノ割合ニ安直ナリシ爲メ開通スルニ至リ價格貴クナリタレトモ秋田地方今日ノ價格ニテ鮮魚ヲ買フ程ノ高價ナラサレバ彼此比較シテ考フルモ格別ノ事ナカルベシ且ツ水産物ハ不漁ナルトキハ鮮魚ニテ高價ニ捌キ得レトモ多漁ニ際スレバ腐敗ノ恐アル物品故鮮魚トシテ販賣スルニハ一時モ猶豫ナラス結局多分ハ肥料干鰯ニ製造スルコトナル又上三郡地方ハ多ク魚類廻リ價格モ幾分上ルナランモ大層ノ變動ナク今日ノ有様ヨリ之ヲ觀レハ肥料類ハ決シテ減額スル事ナカラシ

十番(島山) 次ニ各項ヲ通シテ陳述シテ如何

會頭(檜垣) 差支ナシ
十番(島山) 他ノ各項ニ於テモ精確ナル調査ナク乃チ十一番ノ所謂證據立タル說ニ非ス今日ハ推測ナレハ判然タラサレトモ多少聞取りタルコトヲ述ヘン

物産ノ輸出入ニ對シテハ何種ノ物産カ多ク出入スルヤハ詳ナル調ナシト雖モ考フルニ輸入ハ超過シ輸出ハ物價變動ニ於テ述ヘタル如ク俄カニ鐵道布設セラレタリトテ異動ナク比較上注意ヲ要スルコト少ク輸入物ハ何品ト細密ニ云ヒ得サルモ輸物ニ比シテ増加スルナラン地價ノ變動モ大ナル變動ナカラシ田買入レ居ル經驗者ノ說ニヨレハ數年來其變動ハ金利四朱五朱ニ當リ高ク買得シモノハ三朱位ノ利益ナリト今日地價ノ相場ハ普通ノモノハ一反歩七八十圓ニテ格段ニ百圓以上ノ價ヲ有スルモノアレトモ實際百圓ノ相場ヲ以テ賣買スルモノ最モ少シ鐵道布設ノ爲メ土地ヲ潰スコトアレバ幾分カ地價ニ影響アラシモ今日ヨリ大ナル變動ナカラシ農家ノ生計ハ衣食住ノ三者中食住ハ他縣ニ比シテ異ナラス就中食物ハ本縣農家ハ他縣ニ比シ余程上ニ位シ家屋ノ如キ關東其他ノ農民ニ比シ異ナル所ナシ只衣服ノ一ニ至リテハ上國

等ニ比シ包食同様ニシテ甚々劣等ナレハ衣服ハ食住ト比較權衡ヲ得ズ是等ハ意外ノ費用ヲ要スル事トナリ自然農家ノ生計ヲ高ムルニ至ルハ社會自然ノ勢ナリ」將來起ル可キ事業ハ鑛山開拓ニシテ金利ノ低下スルト共ニ資本ノ運用容易ナルニヨリ鑛山ハ一層進歩スヘク又開拓業ハ勿論養蠶、水産等ノ事業年一年ニ進歩シ其他諸製造業モ勃興スベシ或人ノ說ナレトモ秋田地方ハ薪炭材ノ類充分ノ便アルヲ以テ工業地トシテ適當ノ地ナリト然レハ將來製造業ノ起ルヲ見ルナラン而シテ不幸ノ地位ニ陥ル小事業ハ指ヲ屈スルニ違アラサルベシ秋田市ノ商家ノ如キ大ニ影響ヲ受ケルナラン金利ノ如キモ變動ヲ來シ從來能代地方ハ大金モ一、六七ノ高利ニテ最低一、二三位ナリ秋田市ハ年一割ニテ貸附ヲナス者アレトモ此等ノ借主ハ最モ確實ナルモノニシテ他縣ニ於テハ七八朱位ニ借り得ラル、人口ナリ又々運輸會社繼立事業ノ如キ概シテ驛場ハ何モ影響ヲ受ケ宿屋及ヒ駄賃ニテ生計ヲ立ツルモノ差當リ困難スルナラン其他公立物ニシテ病院ノ如キ各郡ニ存在スルモノハ交通ノ便利ト共ニ勢力アル一ノ病院ニ併呑セラシル、ニ至ラン又印刷業等ハ大ニ影響ヲ蒙リ鐵道開通ノ曉ニハ當市三四軒同業軒ヲ並へ競争シ居ル能ハサルニ至ルベシ要スルニ全体一縣ノ公益ノ上ヨリ觀察スルトキハ幸福ナル景氣ニ傾向シ乃チ數十年後迄永ク享クル利益ニシテ數年間一時ハ一人一事ニ對シテ不幸ナル影響ヲ蒙ラシムルコトアルモ是等回復ノ途直ニ立ツヘク先ツ今日ヨリ注意スルニ非ラサレハ商家ハ余程影響ヲ受ケルナラン詳細ナルコトハ十一番ノ說ヲ容レ二十七年度ニ於テ充分ナル調査ヲ遂ゲン

十四番(加賀谷) 十番ノ說ト大同小異ニシテ物價ノ變動ハ格別ノコト無カラシ水産ニツキテハ意

見少シク異レリ山形地方ノミナラス其他ニモ鮮魚ハ多量ニ輸出セラレベ柏干蝦等ハ自然減少
 スルナラン從テ是ノ景況ニテハ東京等へ多ク運輸セラレベシ米穀ノ輸出ハ將來北海道ニ八九
 分通り占メラレ鐵道ノ爲影響ヲ受クルコト少ナカラン水産物ハ寧ロ低落スルニアラスシテ騰
 貴ノ變動タルベシ木材モ亦多少騰貴セン物産ノ輸出入ハ追々増加シ輸入ハ從來ノ如ク
 ニシテ余リ著シキ變動ヲ見サルベシ地價ノ變動ハ今日ト大差ナク時ニ或ハ低落スルコトナキ
 ニアラサルヤノ考ナリ農家ノ生計ハ食住ニ十分ナルモ衣ノ一點ハ劣リ居ル故自然住食ノ平
 均ヲ取ルニ至リ贅澤ニ傾ク要スルニ收入ヨリ支出多クナリ農家ノ經濟ハ困難ニ陥リ自ラ地價
 低廉スルニ至ラン商家ノ如キハ余程影響ヲ蒙ルベシト思考ス故ニ未タ鐵道布設ニ達セサル前
 十分調査注意スルコト肝要ナリ乃チ十一番ノ説ノ如ク重大ナル問題ナレバ可成其説ヲ容レラ
 レタシ

三番(柿岡)予ハ十番十三番ノ説カ、農家ノ生計ニ困難ヲ來タス可シトノ説トハ反對ニテ鐵道
 ノ便利ト共ニ衣食共ニ奢リニ赴クベキモ全般ヨリ觀察スルトキハ自カラ起ルヘキ事業ト共ニ
 奮起シ多少ノ影響ハ不幸ニアラスシテ寧ロ幸ナレバ全般ノ上ヨリハ憂ナキモノト信ス

十一番(村山)物産ノ興廢ハ需用供給ノ道ニアリ此道ヲ講究スルニハ宜シク鐵道ナル文明ノ利器
 ヲ全國ノ大局面ヨリ得失ヲ割當テサル可カラス故ニ本案ニ就テ充分ニ重ヲ置カン縣廳ニ於テ
 モ重キヲ置クモノトセハ充分適實ナル調査ヲ近縣ハ勿論可成遠方之縣々マデ其影響セル當時
 ノ狀況ヲ取調ベ而シテ二十七年ノ諮問會ニ提出スルコトナシ本會ハ速成ノ討議ヲ取ラス會
 員各自モ公私ノ用ヲ問ハス縣外ニ旅行スルコトアリテ鐵道ノ關係セル地ヲ通過スルトキハ可
 成注意考察充分精査シ次會ニテ本問題 就キ責任ヲ負ハレタシサテ將來起ルヘキ事業ハ從來

交通不便ヨリ障礙セラレタル資本ハ鐵道開通ト共ニ融通圓滑トナリ鑛山及開拓等ハ必ス是ヨ
 リ充分發達スルナラン今之ヲ人口ノ統計ニ徴スルニ一方里ニ生息スルモノ畿内五千五百八十
 九人西海道地方二千九十九人奥羽ハ一千三十五人ニ當リ土地ノ廣漠ナルニ比シ人戸ノ割合
 ニ少ナキヲ見ル之レ將來開墾ノ起ラサルベカラサル所以ナリ馬産ハ別段衰頹ニ赴カサルベク
 モ發達ヲ止ムルナラン是レ前ニ述ベタル需要供給ノ數理ヨリ生スルナリ而シテ鐵道布設ニ依
 リ馬産ハ全國如何ニ進ミツ、アルヤ又ハ退步セルヤヲ證スルニ明治十八年ニ於テ百五十四萬
 八千二百三十二頭同二十二年ニ於テ百五十四萬五千三百四十二頭二十三年ニ於テ百五十四
 萬六千三百六十八頭ナリ思フニ此減少ハ荷車其他力用馬ノ頭數ノ減シタルナルベク乃チ瀛車
 ノ運搬ハ彼等ノ荷物ヲ奪取リタル爲ニシテ仮令頭數増殖スルコトアルモ需要供給ノ上ニ於テ
 價格下落スベシ故ニ將來ノ馬産ニ對スル方針ハ員數ヲ増殖スルヨリハ体格ヲ改良スル方必要
 ナラン

十番(島山)十一番ハ只今馬産ハ將來蕃殖ヨリ改良ヲ主トスベシト唱ヘラレシカ予モ矢張り増加
 スルヨリ改良スル方針ヲ採リ居レリ今馬産證據立ノ員數ハ鐵道布設ノ結果トシテ荷車馬、人力
 車等減少ノ考ヲナスナレモ縣道里道ハ次第ニ整理シ荷物等ハ馬車ニテ運送スルニ至リ又人力
 車ヨリ下リテ途上歩行スルハ容易ナレトモ一瞬千里ノ鐵道ヨリ下リテ歩行スルハ難キヲ以テ
 人力車ニ乘ルナリ現ニ宇都宮ノ如キハ鐵道開通前ヨリ人力車幾倍ノ増加ヲナセリト云フ是里
 道縣道ト停車場ト開通ノ道路起リ荷車等ノ便利隨意トナリ馬産等モ格別ノ減少ナク荷車數ハ
 却テ將來ニ於テ増加スルモノト推測セラル、ナリ

十三番(木下)地價ノ變動ハ多分ノ高低ナカラン其所ニ依リ高クナリ低クナル等ハ便不便ノ如何

ニ依ルモノナラン農家生計ハ十番ノ説ノ如クニシテ十一番ノ説ノ馬産減少ハ重ニ力用ナルカ
如キモ鐵道開通後仙臺以北ノ景況ヲ察スルニ馬車等ノ便非常ニ開ケ一ノ關其他ノ「ステーション」ヲ見ルニ物産ヲ車馬ニテ運搬スルノ盛況ヲ見レハ馬産ノ如キモ彼是レ異變ナカラシト
信スルナリ

會頭(檜垣) 大概御意見モ御陳述ナリシカ未タ發言セサル方々モアリ依テ本日ハ之ニテ結了セン
カ又ハ中止スルコト、センカ

十八番(須田) 本按ニ對シ未タ意見陳述セサルモ此問題ハ重大ナル事ニハ聊カ考ヘナキニアラサ
ルモ十一番十番等ノ陳述モアルコト故其説ヲ容レ可成確實ナル調査ヲ遂ケ申述タキ考ナリ本
按ハ是レニテ一先終結スルコト、セン

十七番(佐々木) 本員モ十番十一番ト大同小異ニシテ少シク考ノ異ナリタル点アレモ之證據立テ
陳述スルコト能ハサレバ他日ニ譲リ十八番ノ如クセン

十九番(志賀) 十一番ノ説ノ如クニテ他ニ異見ナシ

會頭(檜垣) 十一番ノ説モアリ尙ホ十分調査スルコト、セン但此問題ハ實ニ重大ニシテ追々工事
ニモ着手スル運ビニ至リタレハ統計上注意ヲ要スルコト又ハ計畫ヲ要スルモノハ夫々取計フ
トトシ開會中他ノ問題終了ノ上十分御懇談ヲ致スベシ

午後三時五十五分散會

十五日午前第十一時開會

會頭(檜垣) 本日ハ物産陳列所ノ件ニ付意見ヲ述ヘラレタシ

三番(柿岡) 本案ハ本縣ニ對シ尤モ有益ニシテ且今日之ヲ設クル尤モ好機會ナリ殊ニ本縣ハ天

賦ノ物産枚擧ニ暇アラサレハナリ然ルニ是レ迄此等ノ會ヲ設置セサルハ未タ人民ノ其意志茲
ニ至ラサリシナリ今ヤ鐵道布設ノ氣運ニ至リタルナレハ本案ハ尤モ急ヲ要セサルヘカラス本
案ノ理由ニ至リテハ己ニ昨日來委員ノ述フル所ナレハ之ヲ省キ賛成ヲ表スルノミ

會頭(檜垣) 本案ノ意見ハ之ヲ二様ニ區別シ一ハ設置ノ可否ニハ設置方法トシ充分ニ述ヘラレタ
シ

十一番(村山) 本員ハ三番ノ所説ト同感ナリ唯一言以テ委員ニ問フコトアリ即チ參考品ヲ蒐集ス
ルコトハ賣買ノ盛ナルモノヲ標準トナスヤ又ハ重ニ意匠ノ點ヲ採ルヤ其邊ヲ承タシ

委員(兒玉) 物品蒐集ノ方法ハ全体二トス一ハ固有ノ物産改良上有要ノモノ一ハ將來ニ興スヘキ
見込アル物産ヲ蒐集シ見込ノ無キモノハ蒐集セサル積リナリ

十三番(木下) 三番十一番ノ如ク物産陳列所ハ必要ノモノナリト認ムルヲ以テ是カ設置ヲ賛成セ
ン

十八番(須田) 物産陳列所ハ他府縣ニ於テ多ク設置セラル、ヤニ聞クト雖獨リ本縣之レカ設置無
之ハ深ク遺憾トスル所ナルヲ以テ本員モ之レカ設置ヲ賛成セン

十二番(柴田) 米生糸其他ノ物品ニ於テ本縣ハ他縣ニ比シ優等ノモノヲ産スルコト能ハサレトモ
此際他府縣ヨリ種々ノ參考品ヲ蒐集シ之ヲ陳列スルコト尤モ必用ナリト信ス依リテ本案ヲ贊
成ス

四番(安部) 本員モ物産陳列所設置ハ必用ト認ムルヲ以テ本案ヲ可トス
十七番(佐々木) 本案ニ付テ何人モ不可ヲ唱フルナカルヘケレトモ決ヲ探ランコトヲ望ム

十九番(志賀) 本員モ設置ハ必用ト認ムルヲ以テ賛成セン
會頭(檜垣) 本案ニ就テハ異議者ナキヲ以テ大体ハ設置ヲ要スルモノト認ム依リテ方法ニ就キ意見ヲ述ハラレタシ

十九番(志賀) 方法第一項中場所ハ舊城内トアリ是ハ不便ヲ感スルヲ以テ廣ク人目ニ觸ル、尤モ便宜ノ場所ニ設置スルコト、セン

委員(龍田) 此物産陳列所ハ三種ノ用ヲナスモノニシテ一ハ物産陳列所ニ一ハ種苗交換會、共進會等ノ會場ニ一ハ談會場ニ充テ建築物ハ二館ニ區別スル見込ナルカ十九番ハ陳列館丈ハ便宜ノ場所ニ設置スルト云フ義ナルヤ

十九番(志賀) 陳列所ハ人目ノ多ク觸ル、所ニシテ合併シテ設置シ度見込ナリ
三番(柿岡) 陳列所三者合併シテ一所ニ設置セサレハ出來サル譯ナルヤ

委員(龍田) 合併ノ理由ハ第一來會者ノ便利ナルノミナラス交換會及共進會ノ時ニ於テ場所ヲ流用スルノ便アリ且ツ管理方モ大ニ都合宜ケハ本案ノ如ク取調タルナリ

十番(島山) 經費ハ何程ヲ要スル目込ナルヤ
委員(龍田) 茲ニ調査セシ書類アレハ之ヲ回覽セン

十八番(須田) 十九番ノ如ク可成往來ノ頻繁ナル場所即チ土手長町カ或ハ通町邊ニ設置セラレタシ又種苗交換會場ハ舊城ニテハ不便ナレハ是レモ他ノ便宜ノ場所ニ置カレタシ

四番(安部) 舊城ハ不便ナルノ說アレトモ市街中便宜ノ場所ニ置ケハ火災等ノ患レアリ却テ舊城

ハ適當ナルヘシ

三番(柿岡) 十九番ノ述フル如ク便宜ノ場所ニ其ノ一ヲサイテ設置シタシト雖トモ經費及ヒ取締上ニ關係アルヲ以テ舊城内二ノ九へ合併シ設置セラレタシ本地ハ舊城ノ中段ニシテ差程不便ナルヲナカルベシ殊ニ停車場ハ東西何レニ屬スルモ難斗ケレモ先ハ東部ハ評判善シキ方ナレ

ハ舊城ニ置カハ却リテ他縣人ノ爲メ便利ナルヘシ又監獄署ハ鐵道布設スルト同時ニ之ヲ他ヘ移轉セサルヘカラサル意見ヲ有スルヲ以テ追々他ニ之ヲ移轉ストセハ陳列場ノ如キ好位地ナリ然シ實際之レカ移轉ハ目下出來得ルコトニアラサレハ暫ク舊城地ニ設置スルコト、セン

十三番(木下) 三番ノ說ノ如ク目下他ニ適當ノヶ所ナキヲ以テ差當リ舊城地ヲ以テ便宜トス
十番(島山) 陳列場位置ハ差當リ舊城内ヨリ他ニアラサルヘシ三番ノ如ク監獄署ノ處ハ尤モ適當ナレトモ之ヲ移轉スル容易ノコトニアラサレハ差當リ右ノ場所ヨリ仕方ナルヘシ

十番(島山) 委員ニ質サン敷地料ハ如何
委員(龍田) 二ノ九ハ借地料ヲ要セサル事ニ聞キタレトモ尙念ノ爲メ十圓ヲ借地料トシ雜費ニ組込ミタリ

十二番(柴田) 方法第一項ハ他ニ便宜ノヶ所ナケレハコレニテ差支ナシ
十一番(村山) 場所ニ付二三ノ說アレトモ他ニ便宜ノ地所ナキト又市街ナレハ火災等ノ患アルヲ以テ舊城内往來ノ便ナル所ヘ設置セラレタシ

十七番(佐々木) 三番十三番ノ說ノ如ク唯今ニテハ他ニ良キ場所アラサル様ナレハ矢張舊城内ノ說ニ賛成セン

會頭(檜垣) 舊城内ヲ可トスル說多キヲ以テ同地内設置ノコトニ認ム是レヨリ二項以下ノ御意見

三十七

ヲ述ラレタシ

十番(島山) 方法ハ大概縣廳ノ調査ニテ差支ナキヲ以テ別ニ意見ヲ述ヘス

四番(阿部) 本員モ拾番ト同感コシテ別ニ意見ナシ

十一番(村山) 方法ハ別ニ異見ナシ唯蒐集物ニ付テ一ノ希望アリ即チ本縣工藝品ハ甚々意匠ニ乏シキヲ以テ可成他府縣ヨリ蒐集スルモノハ充分ノ意匠アルモノニシテ其ノ志想ヲ養成シ得ル丈ゲノ物品ヲ購入スルニアリ

十三番(木下) 別ニ意見ナシ唯陳列品ニ就テハ充分ノ注意ヲ望ム建築物ハ二棟ナレトモ若シ同地所ニ建築スルコトナレハ一棟ニスル方宜カルヘシ

十四番(加賀谷) 建物ハ二ノ九ニ建築スルヤ

委員(龍田) 二ノ九中央南北二部ニ區別シ建築スル積ナリ即一ハ陳列場及談會場ニシテ一ハ交換

會其他ニ要スル陳列之ナリ

十二番(柴田) 拾番十三番ト同感ニシテ別ニ意見ナシ

會頭(檜垣) 方法ニ就テハ別ニ御意見ナキモノト認ム

十番(島山) 此種ノ陳列場ハ何府縣ニ多キヤ

委員(兒玉) 別ニ調査セシ書類ナキモ仙臺、福嶋、宇都宮、岩手、青森其他關西地方ニ設置セラル、様ナリ而シテ其尤モ盛ナルハ石川縣ノ博物館ニシテ明治七八年頃ヨリ繼續シ致々トシテ物産ヲ蒐集シ目下貳拾八萬圓以上ノ價額ニ上レリト云フ

十番(島山) 貳拾八萬圓トハ地方税ヨリ支出セラレタルヤ又ハ他ニ方法アリヤ

委員(兒玉) 是レハ年々増加セシ結果ニシテ或ハ民間ヨリ寄贈セシ物品モアリ又ハ政府ヨリ下付

セラレタル器物モアリ又地方税ヨリ購フモノモアリテ漸次盛大ニ至レルナリ

會頭(檜垣) 本官ハ石川縣ニ奉職セシコトアリシヲ以テ御參考迄同博物館ノ景況ヲ述ヘン同博物館ハ元ト富山、石川、福井合併シテ設立セシモノコシテ其規模頗フル大ナリ然レトモ其縣税ヨリ支出セラル、費用ハ至リテ僅少ナリ工業學校及農學校等ハ之カ爲大ニ補助ヲ得ルナリ又各府縣及西洋ニテ物品ヲ交換セシモノ多キヲ以テ目下夥多ノ物品ヲ蒐集セラレタルナリ位置ハ金澤城ノ中央ニシテ風景頗佳絶殆ント上野公園ヲ縮少セシモノ、如シ
午後ヨリ物産陳列場位置見分ノ爲メ一同舊城地へ出張ニ休會

十六日午前第十時四十分開會

會頭(檜垣) 本日ハ漁業ノ件ニ付意見ヲ述ヘラレタシ

十三番(木下) 委員ニ質問セン説明ニ依リ漁業視察派遣員ノ滯留十日或ハ二十日ヲ要スルヤニ聞

ケリ右期日ハ派遣員ニ任カスル都合ナルヤ

委員(中松) ソレハ大凡縣廳ニ於テ指定スル積リナリ即チ福井ハ十五日富山ハ十三日佐渡及能登

ハ二十日ノ豫定ナリ

十三番(木下) 天候ニ依リ實際出漁出來サル場合アリテ調査充分ナラザルモ豫定日數ヲ經過スル

トキハ歸路ニ付カサルヲ得サル義ナリヤ

委員(中松) 天候ノ悪シキ爲メ出漁ノ出來サル場合ハ大体ノ模様ヲ調査スル見込ナリ

十七番(佐々木) 各漁業組合ノ資金高ヲ承リタシ

委員(中松) 漁業組合ハ七ヶ所ニシテ其資金ハ二千七百三十二圓三拾九錢二厘ニシテ内譯ハ左ノ

如シ

(二十五年十二月現在高)

一金百七拾貳圓五拾九錢八厘

由利郡海面漁業組合

一金百拾五圓三拾三錢五厘

河邊郡新屋漁業組合

一金七拾壹圓三拾四錢三厘

南秋田郡橫濱漁業組合

一金九百三拾四圓四拾四錢七厘

南秋田郡南磯村漁業組合

一金五百八圓六拾九錢九厘

南秋田郡北磯漁業組合

一金九百三拾圓貳拾六錢六厘

山本郡能代外五ヶ村漁業組合

十七番(佐々木) 本案漁業視察員ヲ派遣スルハ漁業ニ頗フル有益ナレハ之ニ賛成セン

會頭(楡垣) 本案ノ大体ヲ一段ニ分チ可否ヲトケン即チ大体ノ可否及其方法ニ就キ意見ヲ述ヘラレタシ

十四番加賀谷 漁業視察員ハ何月頃派遣ノ都合ナルヤ

委員(中松) 一行ノ日數ハ往復滞在トモ百日トシ二十八年秋季派遣ノ見込ナリ

十四番加賀谷 派遣員ハ其遠近ニ依リ差異アルヘケレモ一名凡ソ何圓ニ當ルヤ

委員(中松) 派遣員旅費豫算ハ左ノ如シ

一金九拾九圓四拾錢

西海岸一行一名分

内

金三拾壹圓四拾錢

本縣ヨリ新潟富山石川ノ三縣ヲ經福井縣ニ至ル陸路片道凡百六十七里往復三百二十四

里車馬賃一里拾錢

金拾六圓

新潟外三縣内巡回里程一縣凡ソ四十里トシ四縣分百六十里車馬賃前同斷

金五拾圓

往復滞在日數百日日當一日金五拾錢

右滞在巡回日數左ノ如シ

新潟

富山

石川

福井

滞在巡回トモ六十八日

二十日

二十日

二十日

十五日

往復三十二日

一金百拾三圓貳拾八錢

東海岸一行一名分

内

金四拾八圓貳拾八錢

本縣ヨリ岩手宮城福嶋茨木ノ四縣ヲ經千葉縣ニ至ル片道瀛車路三百五十一哩及陸路百

一里往復瀛車路七百〇二哩此金貳拾八圓八錢一哩四錢陸路往復二百二里此金貳拾圓貳

拾錢一里拾錢

金拾五圓

岩手外四縣巡回里程一縣三十里トシ五縣分百五十里車馬賃

金五拾圓

往復滞在日數百日日當金五拾錢

岩手

宮城

福嶋

茨木

千葉

十三日

二十日

十日

十日

二十日

瀛車四日

岩手ヨリ宮城一日 宮城ヨリ福嶋一日 滞在巡回トモ七十三日

十四番加賀谷 本員ハ本案ヲ尤モ必用ト認ムルヲ以テ賛成セン

十二番柴田 本員ハ漁業上不案内ナレトモ各漁業組合ヨリ四名丈ケヲ派遣センヨリ尙二三名増

加シ歸縣ノ上充分當業者ニ満足ヲ得セシムル様致タシ

十八番須田 本縣ノ漁業ハ之レヲ他府縣ニ比シ漁獲方法及製造法ノ拙ナルヨリ現在海中ニ生棲シ居ル鮪、海豚等モ捕獲スルコト能ハサル有様ナレハ是等ノ實況ヲ視察シ來リ之レカ改良ヲ

企圖シタランニハ實ニ本縣ノ一大利益ナリト信ス費用ハ委員説明ノ如ク漁業組合ニ負擔セシムルコト可ナリト雖若シ組合ニ於テ之レカ費用ヲ負擔セサル不止得事情ノアリタル節ハ縣費ヲ以テ之レカ支出ヲナシ充分調査セラレンコトヲ望ム

十九番(志賀)本縣ハ漁業幼稚ニシテ其進歩甚タ遅緩ナルノ今日本案ノ提出セラレタルハ頗フル必要ノ事ナルヲ以テ本員ハ派遣員ヲ増加シ且ツ巡回日數ヲ延長シ充分之レカ調査ノ材料ヲ得セシメンコトヲ望ム

十一番(村山)十八番ノ述フルカ如ク各漁業組合ニ於テ之レカ費用ヲ支出セサル節ハ其支出ヲ如何セン又七漁業組合ヨリ四名ヲ派遣スルトセハ其間ニ折合ノ付カサルヤノ懸念アリ如何

委員(中松)組合ニテ費用ヲ負擔セサルトキハ如何ノ御質議アレトモ是邊迄ノ調査ハセサルモ其費用ハ縣廳ニ於テ實行上差支ナキ様組合ニ負擔セシムル積リ殊ニ此資金ノ性質ハ漁業改良上ニ支辨セサルヲ得サレハナリ又派遣員ハ組合毎ニ撰拔スル見込ナリシカ然スルトキハ費用モ大ナルコトナレハ悉ク組合ヨリ支出スル譯ニモ行カス又本資金ハ漁村ノ維持費ヲモ含蓄スレハナリ然シ各組合ニ於テ各一名派遣スルコトハナレハ差支ナキノミナラス却テ縣廳ニ於テ希望スル所ナリ

十一番(村山)各漁業組合ハ其地區ニ依リ大小アルヘケレハ其費用ヲ徵集スル方法如何スル積リナルヤ

委員(中松)元ヨリ組合ハ其大小ニ依リ金額ノ多少アルヲ以テ其徵集方ハ組合ノ戶數ニ割當テ徵收セシムル考ヘナリ

委員(長瀬)沿海七組合ニ於テ年々水産集談會及其他ノ聯合會ヲ設クルトキ是レ迄其費用ノ割付

ニ就テハ漁獲及漁戶ニ就テセリ御參考迄申述ブ

十一番(村山)本員モ本案ヲ是認セン

十四番(加賀谷)費用割付ノコト今一應委員ニ説明ヲ乞フ

委員(長瀬)漁業資金ヲ元ト縣廳ニ於テ下附セシトキハ漁戶ト漁獲高ニ依リ割り當テタルモノナルヲ以テ爾來組合聯合ニ關スル費用ハ總テ其漁戶ト獲高ニ割當テタルナリ

十四番(加賀谷)組合中ニハ勉不勉ニテ貯蓄高ニ相違アルヘシ然ルトキハ之レヲ徵收スルニ甲乙アルヘシ如何

委員(長瀬)元ト下付セシ資金ニ割當テ目下現在高ニ割當ルコアラズ

四番(安部)本案ノ如キハ水産上非常ノ進歩ヲ與フルモノト見認ヲ以テ賛成ス

十七番(佐々木)本郡漁業組合ハ數年前海豚捕獲ノ有益ナルヲ悟リ之レカ捕獲ニ着手セシカ不幸

ニモ失敗シ下付金額中凡ソ百圓ヲ減少セリト雖トモ漁民多クハ尙斯業ノ改良ニ々タルヲ以

テ本員ハ大ニ本案ノ實行ヲ望ム

十一番(村山)漁業視察員派遣ノ件ハ一應組合ニ問ヒシヤ確メ置キタシ

委員(中松)本年通常縣會ニ提出前各漁業組合聯合會ニ諮問シ各負擔高等ヲ精査シムル積リ

十一番(村山)本案ハ諸君ノ如ク賛成ナレトモ但書派遣員四名ヲ四名以上トシ組合ノ協議ニ任スルコトヲセン

三番(柿岡)本員モ十一番ニ賛成セン

十三番(木下)本員モ但書ノ所ハ十一番ト同感ナリ

十八番(須田)十一番ニ賛成

會頭(檜垣) 本案大体ニ付別ニ御意見ナシト雖トモ但書ニ就テハ確メ置キタケレバ之ヲ起立ニ問
ハン
十三番(木下) 起立ハ方法ノ項ニ移リタル上ニセラレタシ
會頭(檜垣) 何レニテモ差支ナキ様ナレハ但書中派遣員四名ヲ四名以上トシ組合ノ意見ニ任カス
ヘシトノ各員起立

起立者五名

(總員九名)

會頭(檜垣) 是レヨリ「方法」ニ就テ意見ヲ述ヘラレタシ
十三番(木下) 視察員派遣ノ日數ハ一ヶ所三十日ニアラサレバ充分ノ調査ヲナスコト能ハサルヘ
シ明治二十一年ノ頃本縣ニ於テ千葉縣ヨリ漁業教師三名ヲ招聘シ鰯漁ニ從事セシカ好結果
ヲ得スシテ空シク歸郷セリト云フ其原因ヲ聞クニ秋田ハ漁場廣ク到底三人ノ教師ニテハ出漁
ノ準備其他ニ於テ充分意ノ如クナラサルヲ以テ寧ロ他ノ漁場ニ人ヲ遣シ其實況ヲ目撃セシメ
而ル後之ヲ縣内ニ實施セハ好結果ヲ見ルコトヲ得シ云云又本員會テ千葉勝浦ニ至リ漁場ノ有
様ヲ見ルニ其用意頗フル整頓シ一主人ノ命令アルトキ漁夫ノ之ニ從フ意ノ如ク熟練感スルニ
余リアリ依リ其時一漁場凡ソ何日ニテ充分視察シ得ルヤト問ヒシニ先ツ天氣ニテ三十日ハ充
分要スルト云ヘリ本案ノ如ク連モ一週間或ハ十日ニテハ決テ充分視察スルコト能ハスト考フ故
ニ其場所ニ依リ多少ノ相違アルヘケレモ凡ソ三十日トシ充分實況ヲ視察セシメンコトヲ希望ス
十八番(須田) 十三番ノ説ニ依レバ三十日ニアラサレハ充分ノ視察出來サルコトナルカ一應御尤
ノキトナリ然シ一漁場毎ニ漁具漁法製法等ニ至ル迄調査セサルモ其大体ヲ視察シタランニハ
百日ニテ差支ナカルヘシ

十七番(佐々木) 十三番ノ説ハ御尤サレトモ一ヶ所ニ三十日ツ、滞在スルモノトセハ魚類ノ捕獲
期節ヲ失スルノ恐レアレハ本案ノ如クセン

十四番(加賀谷) 視察員ハ何時頃派遣セラル、御見込ナルヤ

委員(中松) 二十八年度中可成漁族ノ漁獲多キ時節ニ派遣スル見込ナリ

十八番(須田) 縣會ニ提出シ可決ノ上漁業組合ニ諮問スル積リナルヤ

委員(中松) 本年五月組合ヘ諮問スル豫定ナレハソレヨリ縣會ヘ提出スルコトナラナラン

十四番(加賀谷) 方法等ニ就テハ別ニ意見ナキヲ以テ本案ヲ賛成セン

四番(安部) 十三番ノ説ノ如ク二十日ヲ三十日トシ充分調査セシメ本案ノ目的ヲ達セシメタシ

委員(中松) 日數ニ付十三番ノ説モアレモ魚ノ種類ニ依リ漁季ニ相違アルヲ以テクレク、方面ヲ

定メ視察スル積ナレハ漁具漁船等ノ構造マテモ調査スルニアラサレハ此日數ニテ充分ナラン

會頭(檜垣) 本案モ別ニ他ニ異見ナキヲ以テ各員ニ於テ賛成ト認ム是ニテ諮問ノ條項ヲ結了セリ

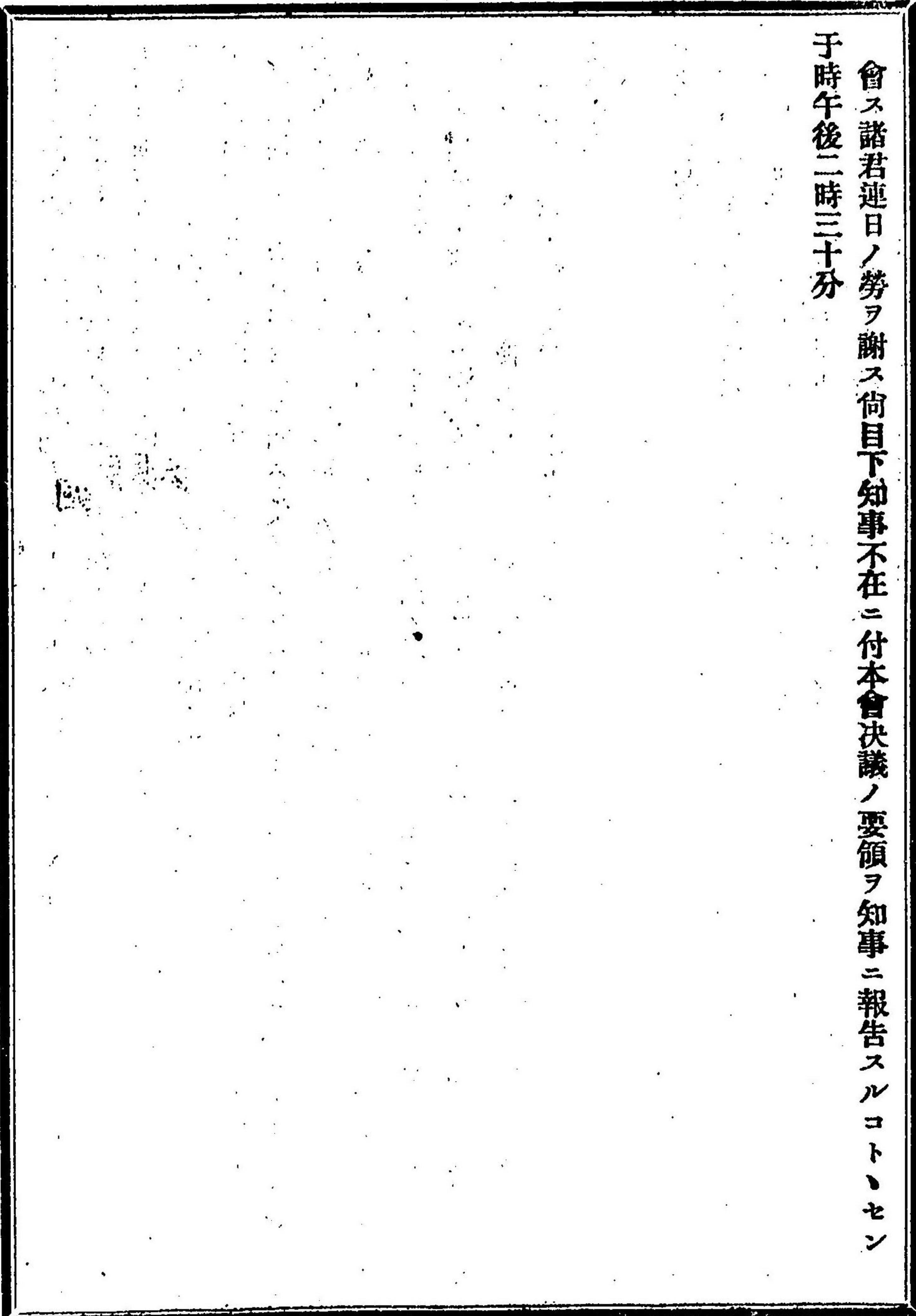
尙各員ニ於テ建議等アレハ之レヲ議セン

時ニ十二時

午後一時開會

會頭(檜垣) 閉會ニ先チ各員ニ一言セン第四回内國勸業博覽會及本縣物産品評會出品獎勵ニ就テ
本廳及ヒ各郡各町村ニ委員ヲ置キ且ツ職員ヲ派シ出品ヲ獎勵スル筈ナレトモ各員ニ於テモ此
際充分獎勵セラレシコトヲ望ム尙過日兒玉屬ヨリ依頼シ置キタル實業同盟會ノ件モ併セテ充
分御尽力アラシコトヲ請フ而シテ各員ニ於テモ別ニ建議ナキ様見受ケラル、ヲ以テ是ニ閉

會ス諸君連日ノ勞ヲ謝ス尙目下知事不在ニ付本會決議ノ要領ヲ知事ニ報告スルコトニセン
于時午後二時三十分



明治二十七年四月二十六日印刷

明治二十七年四月廿六日發行

秋田縣

印刷者

塙 徳藏

秋田市臺所町二十二番地

印刷所

久保田活版所

秋田市大町二丁目二番地

明治二十三年十二月

滋賀縣第七回勸業諮問會日誌

未尚開
東京商會

滋賀縣第七回勸業諮問會日誌

追加

本會ニ於テ第十四番員高原一義ヨリ建議シタル商法實施延期
呈出ノ義ハ既ニ可決シ起草委員三名ヲ撰擧シ意見書呈出ノ事ヲ委托
該委員三名ヨリ上申シタル意見書ハ左ノ如シ



商法實施延期之義ニ付上申

我政府ハ本年四月二十六日ヲ以テ商法千有六拾四條ヲ發布セラレ來ル明治二十四年一月一日ヨリ之ヲ我商業社會ニ實施スルコトヲ達セラレタリ余輩僉々此法律ヲ閱シ其趣旨ノアル所ヲ繹スレハ取モ直サス我商業社會ノ秩序ヲ矯正シ而シテ商業ノ發達ヲ扶ケ以テ大ニ國家ノ經濟ヲ盛ニスルノ目的ニ出タルニ外ナラサルヘキヲ信ス然レモ此法律タル其規定スル事項ノ繁多ニシテ國家經濟上ニ及ホス影響ノ甚大ナル意義ノ深奥ニシテ語辭ノ斬新ナル實ニ學理家モ實際家モ容易之カ真相ヲ會得シ之ヲ奉スルニ適當ナル手段ヲ知得スル能ハサルナリ然リ而シテ我政府ハ發布以來僅々八ヶ月ノ猶豫ヲ與ヘ此重要ナル此繁密ナル此深奥ナル法律ヲ以テ彼ノ無經驗ナル彼ノ因襲的慣習ノ強キ我商業社會ニ實施セントスルハ少シク急速ニ失スルノ恐ナキカ余輩ハ恐ル折角此金科玉條ノ法律モ餘リ實施ノ急速ナルカ爲メ我邦經濟上ニ幾多ノ困難ヲ與ヘ商業社會ニ幾多ノ不利益ヲ醸スアルヤチ是

ヲ以テ余輩ハ此法律實施期限ヲ延期シテ世人ニ成ルヘク充分ノ準備ヲ爲ス丈ノ猶豫ヲ與ヘ而シテ後之ヲ實施スルコソ我國是ノ爲メ宜キヲ得ルモノタルコトヲ信スルナリ今假ニ我商業社會ノ者ヲシテ能ク此法典ヲ理解シ直ニ之ヲ遵奉シテ差闕ナキ程度マテ進歩シタルモノトスルモ余輩ハ尙爰ニ延期ヲ希望スヘキ一理由ノ存スルアルヲ見ル元來商法ハ獨立シテ施行スヘキモノニ非ス何トナラハ法文第一條ニ明示セル如ク「商事ニ於テ本法ニ規定ナキモノニ付テハ民法ノ成規ヲ適用ス」ト元來商法ハ民法ノ一部分ナレモ商業ハ其國民間ノ關係ノ繁雜ナルト國家經濟上ニ影響ヲ及スコトノ重要ナルヲ以テ一ノ特別法ヲシテ發布セラレタルモノニ外ナラサレハ民法ト商法トハ實ニ唇齒輔車ノ關係ヲ有スルモノタルコトヲ信スルナリ然ルニ今商法ヲ先ニシ其本法タル民法ヲ後ニスルハ果シテ如何ナル理由ノ存スルアリテ然ル乎且ツ若シ第一條ノ場合ニ於テハ未タ施行期限ニ達セサル民法ノ或一部分ヲモ施行セサルヲ得サルノ不都合ヲ見エナラン假令ヒ又

一步ヲ讓テ其實施ノ先後ヲ咎メサルモ何故ニ民法ハ其實施期限ヲ晚クシテ商法ニ限リ之ヲ早メタルカ余輩ヲシテ之ヲ推測セシメハ民法ハ其簡條ノ多キヲ以テ實施ノ猶豫ヲ與ヘタルナランカ果シテ然ラハ商法ハ僅々八ヶ月間ノ日子ヲ以テ充分ニ其準備ヲ悉シ得ヘキモノトスルカ蓋シ前者ハ人ト人トノ關係ニシテ就中婚姻法相續法ノ如キ各人ニ就キ一生ニ一度之カ規定ノ法權ニ準據スレハ可ナルモ商法ノ如キハ其影響スル單ニ一己人ニ止マラス廣ク我邦商業上ニ大關係ヲ有シ加之始終急速ノ間ニ事ヲ處辨セサルヘカラサルモノナレハ余輩ハ實ニ其實施期限ヲ一時延期スルノ甚ク正當ナルヲ信スルナリ或論者ハ曰ク假令兩三年ヲ延期スルモ到底其準備ノ完全ナルヲ望ム能ハサレハ直ニ之ヲ行フノ勝レルコ如カスト嗚呼何リ夫レ不親切ナルヤ苟クモ法律上一事ヲ論セントスレハ其論旨理由ヲ明ニスルハ論者ノ責任ナリ然ルニ唯漠然トシテ理由アルナク徒ニ實施ヲ企望スルハ所謂輕薄者流ニアラサレハ少シモ痛痒ヲ感セサル無生産的人物ノ言ノミ

余輩ハ此等ノ論ハ敢テ齒牙ノ間ニ置クニ足ラストスルモ苟クモ我政府カ非常ニ肝膽ヲ磨シ腦漿ヲ絞リテ成定シタル此完美ノ法典ヲシテ其實施ノ速カナルガ爲メニ意外ノ惡結果ヲ演出スルアラハ實ニ我商業社會ノ休戚ニ關スルノミナラス當局有司其人ノ目的ニモ亦孤負スルアラソクテ恐ル、ナリ尙一步ヲ進メテ我當局有司ガ商法ヲ成立スルノ必要ヲ感セラレタルハ何レノ点ニアルカ蓋シ近時諸取引ノ方法漸ク多端ニ涉リ愈益繁雜錯綜ナルニ至ルト共ニ早ク之レカ規定ノ法律ヲ成定セサレハ奸才佞智ノ徒巧ニ世入ヲ瞞着シテ自利ヲ圖ルモノ踵ヲ接テ起リ爲メニ商業秩序ヲ紊乱スルアルヲ患ヒ一日モ早ク之ヲ矯正シテ將サニ墮落セントスルノ商運ヲ挽回スルニアリトセンカ余輩ハ當局有司ガ致意ノ懇到ナルヲ感謝ス然レモ上來既ニ述フル如ク之ヲ實施スルノ急速ニシテ被治者ノ充分ニ之レカ準備ナキ日ニ於テ之ヲ實施セラル、ハ折角懇到ナル致意モ或ハ水泡ニ屬スルノミナラス却テ意外ノ惡結果ヲ演出スルアラソトテ恐ル、ナリ今近ク之

ナ例セハ從來個々商業ニ從事シツ、アル多數ノ商業家ハ唯専ラ世間
 ノ習慣ト自家ノ家風トニ依リ臨機應變ノ掛引ヲナシツ、アリシモノ
 ガ未ダ商法ノ意味ヲ會得セサル間ニ唯何カナシニ此法律ノ下ニ支配
 セラレサルヲ得サルニ至ラハ實業者ノ迷惑果シテ如何ナルヘキカ既
 ニ公然新法典ノ下ニ支配セラレツ、アル以上ハ假令實際知ラス識ラ
 スノ間ニ法律ニ抵觸スル取引ヲナスアルモ到底法律ノ制裁ヲ免ル、
 コト能ハサルノミナラス彼ノ當局者ガ此法文ヲ以テ防ガントスル所
 ノ奸才佞智ノ徒ハ却テ之ヲ奇貨トシテ一時法律外ニ不正ノ利益ヲ壟
 斷シ幾多ノ正商ヲ瞞着スルノ要具ヲラシムルアルヲ恐ル、ナリ夫レ
 法律ヲ成定スル固ヨリ困難ナルニ相違ナキナリ然レモ之ヲ實施スル
 亦困難ナラサルヘカラス若シ實施ノ方法其宜シキニ適セサレハ如何
 ナル完美ノ法典モ唯空文徒然タルヲ免レサルナリ要スルニ余輩ハ固
 ヨリ充分ニ了解シ得ラレタル以上ハ一日モ早ク此完美ナル新法典ノ
 下ニ立タンコトヲ希フモノナリ然レモ獨リ奈何セシ實施期限ノ急速

ナルガ爲メ未ダ相應ノ準備ヲ爲スニ迫ラス若シ此時ニ方ツテ一篇
 ノ命令ト共ニ之ニ服從スヘクシテ却テ法令ニ抵觸シ幾多ノ罪入ト幾
 多ノ破産者ヲ生シ結局我商業社會ノ衰頽ヲ招クアルヤ必セリ之ヲ再言
 スレハ目下我邦最大多數ノ實業者ハ異口同音ニ新法典ハ「分ラヌ」ト言
 フ一事ヲ以テ証スルニ足レリ夫レ治者ト被治者トノ關係ハ猶車ノ兩
 輪アルガ如シ今ヤ被治者ノ最大多數ハ熱心ニ延期ヲ切望セリ我賢明
 ナル當局有司ハ幸ニ我商業社會ガ實際ノ状態ヲ洞察シ一時延期シテ
 余輩ヲシテ顛スルナク躓スルナク充分ニ此完美ナル法典ノ實ヲ舉ケ
 シメラレノコトヲ切ニ希望ニ堪ヘサルナリ
 右本會ノ決議ニ依リ意見上申候也

滋賀縣勸業諮問會員總代

林田 騰九郎印

高原 一義印

馬場 新三印

明治二十三年十二月三日

內閣總理大臣伯爵山縣有朋殿

明治二十三年十二月十一日出版

滋賀縣

2
4

勸業諮問会日誌 8 秋田県

滋賀県勸業諮問会日誌 7

国立国会図書館

041894-002-9

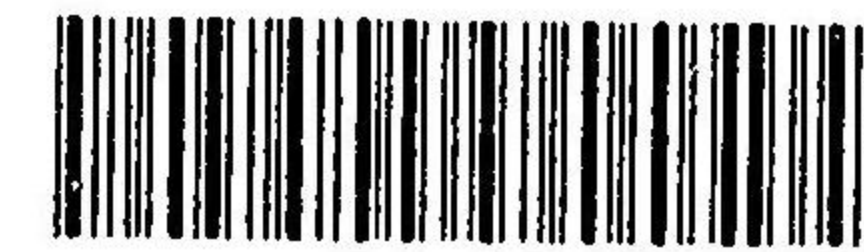
40-52

滋賀県勸業諮問会日誌

滋賀県

M23

BDI-0544



6